

令和 8 年度

# シラバス

2年生（文系）



国 語  
地歴公民  
数 学  
理 科  
保健体育  
英 語  
情 報  
教育課程表

岐阜県立斐太高等学校

科目	論理国語	単位数	2単位	学年・コース・組	2年 文理共通
使用教科書	探求 論理国語 (桐原書店)				
副教材等	大学入試に出た 核心漢字 2500+語彙 1000 (尚文出版編集部 編)				

1. 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 評価の観点の趣旨

知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
実社会に必要な国語の知識や技術を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

3. 学習の計画

月	指導の領域 指導時間		単元名	指導項目 (単元目標)	主な言語活動	評価の場面 ・方法	評価の観点			教材名
	書く	読む					a	b	c	
4		4	<知>の コミュニ ティへ	内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが ら要旨を正確に把握する。	論理的な文章を読み、「多様性を認めるこ と」について、自身の 意見をまとめ、グルー プで討論する。	行動観察 課題・レポ ート ワークシー ト 振り返りシ ート	○ ○	○ ○	○ ○	気持ちよさ という罪
5		4	評論 I	評論という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが ら要旨を正確に把握す る。	「いのち」は自分のも のだと考える一般論と は異なる論点をもつ複 数の文章を読み、批評 する。	行動観察 課題・レポ ート ワークシー ト 振り返りシ ート	○ ○	○ ○	○ ○	いのちは誰 のものか?
		2	2	<知>の 深化	2つの文章の共通点を理解し、 まとめつつ自分の主張について 根拠をもって表現する。	「いのちは誰のもの か」について多様な資 料を集め、調べたこと を整理し、様々な観点 からまとめ、意見交流 をする。	○ ○	○ ○	○ ○	晴れた空の 下で
		1	中間考査				○ ○	○ ○		
6		6	評論解析 A	話題、論旨の展開を把握し、筆 者の主要な見解を把握する。 指示表現が指す内容を明らかに することで、本文内容を的確に 捉える。	複数の短文について、 様々な観点から要約を した後に、意見交流を 行い、文の表現や構造 を吟味し、自分の文章 が的確に伝わる文章に なるように工夫する。	行動観察 ワークシー ト 振り返りシ ート	○ ○	○ ○	○ ○	科学と市民 集落の創造 「もどかし さ」の融合 「可能性」 としての貨 幣
7		4	評論 II	言語の働きについて、文章の 内容や解釈を多様な論点や異なる 価値観と結び付けて、新たな観 点から自分の考えを深め再構成 する。	評論コラム1の短い論 文を読み、本文との関 連を考察しながら自分 の考えを論述し、クラ ス発表をする。	行動観察 課題・レポ ート ワークシー ト 振り返りシ	○ ○	○ ○	○ ○	動物の信号 と人間の言 語



						振り返りシート				
2 3	5		実社会	伝えたいことが的確に伝わるように、文章の構成や展開、表現の仕方などを吟味し、文章全体を整え、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直し、自分の表現を工夫する。	「通信文」や「観光地紹介」を、的確にまとめたり、調べたことを整理したりしてまとめる。	行動観察 課題・レポート ワークシート 振り返りシート	○	○	○	通信文を書く 観光地紹介を書く
		1	学年末考査				○	○		
時 数	書									
	読									
	30 40									
	70									

・毎週1度、授業時に前期は漢字書きとり小テスト、後期は語彙の小テストを行います。

#### 4 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の3つの観点から行います。	
知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技術を身に付けている。
思考・判断・表現	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

- ・年4回の定期考査（前期中間・前期末・後期中間・学年末）  
※各考査の出題範囲は各考査直前までの学習内容を基本とします。
- ・長期休暇明けの課題考査3回（夏・冬）および課題への取り組み状況
- ・学習への参加状況（ノートづくり、話し合いへの取り組み状況・授業中の発言など）
- ・週一回の漢字・語彙テスト

また、1年間の評定は、前期・後期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

#### 5 特に強調しておきたい点（留意すべき点・担当者からのメッセージを含む。）

<p>1年次で学習した現代の国語に引き続き更に読解力、想像力が必要となる論理的な文章、実用的な文章を読み進めていきます。学習活動は1年次のものから劇的に変化するということはありませんが、継続して以下の点に注意して日々の学習を進めてください。</p> <p>①日々の授業を大切にすること。 （1年次に学んだことを振り返り、積極的に授業に参加してください。）</p> <p>②課題を欠かさず行うこと。 （授業では課題が課されることがあります。限られた授業時間を有意義なものにするために積極的に取り組んでください。）</p> <p>③長期休暇課題を丁寧に解くこと。 （授業で扱う文章は限られたものです。多くの文章に触れて読む訓練をしてください。また、模範解答にもしっかりと目を通し、問題を解くポイントを学んでください。）</p> <p>④毎回の漢字・語彙小テストにきちんと取り組むこと。 （試験において漢字は必ず出題されます。漢字は短期間で習得するのは困難なため、日々の漢字演習をここで行ってください。また、語彙の辞書的な意味を知っておくことは、文章読解の要です。おろそかにしないようにしましょう。）</p>
---

科目	古典探究		年次・コース		2年文系
単位数	3	使用教科書	高等学校 古典探究 (教研出版)	副教材・問題集等	体系古典文法（教研出版） 新明説漢文（尚文出版） 核心古文単語351（尚文出版）

1. 科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 評価の観点の趣旨

知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めようとしている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典を通して先人のものの見方、感じ方、考え方と関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで古典に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

3. 学習の計画

月	単元	指導項目	予定時間	主な学習活動（指導内容）と到達目標	評価の場面・方法	評価の観点		
						a	b	c
4 5 6	説話	兼盛と忠見(沙石集)	21	<ul style="list-style-type: none"> <li>『沙石集』の編者が、忠見のあり方をどのように評価しているか説明する。</li> <li>世間の人が華歆・王朗のことをどのように評価したかを説明する。</li> <li>「春日野の……」の歌と「みちのくの……」の歌の類似点・相違点を考える。</li> <li>第一段落と第二段落はどのような関係にあるか、考える。</li> <li>「あさみどり……」の歌を現代語訳し、この歌が「鳥飼」という題の歌であると言えるのはなぜか、説明する。</li> <li>「画竜点睛」という故事成語の辞書に載っている意味と用例を比較する。</li> </ul>	行動観察 課題・レポート ワークシート 振り返りシート	○	○	○
	故事	華歆・王朗(世説新語)				○	○	○
	歌物語	初冠(伊勢物語)						○
		通ひ路の関守(伊勢物語)						
		鳥飼の院(大和物語)						
	故事	画竜点睛(歴代名画記)						
			1		前期中間考査	○	○	
7 9	随筆(+)	すさまじきもの(枕草子)	31	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代語「すさまじい」の意味を調べ、古語「すさまじ」からの意味変遷の歴史をまとめる。</li> <li>「わろかめれば、寿命経も、え書くまじげにこそ」とは何を清少納言に伝えようとしているのか、説明する。</li> <li>漢詩に描かれている情景や心情を読み取り、優れた表現に親しむ。</li> </ul>	行動観察 課題・レポート ワークシート 振り返りシート	○	○	○
	漢詩	御前にて人々とも(枕草子)				○	○	○
		【絶句】 勸酒(唐詩選) 山中对酌(古文真宝) 磻中作(唐詩選) 澄邁駅通潮閣(東坡後集)						
		【律詩】 旅夜書懷(唐詩選) 黃鶴樓(唐詩選) 寄李儋・元錫(唐詩三百首)						
	日記文学(+)	東路の道の果て(更級日記)		<ul style="list-style-type: none"> <li>日記や日記文学に関する知識を身に付け、物語のありようや源氏物語について理解や関心を深める。</li> </ul>				
	物語	光源氏誕生(源氏物語)		<ul style="list-style-type: none"> <li>帝が「桐壺の更衣」を寵愛することに対し、周りの人々はどのように思ったかを説明する。</li> <li>光源氏は「女子」のどこに興味をひかれているのかを説明する。</li> </ul>				
		小柴垣のもと(源氏物語)						
			1		前期期末考査	○	○	

10 11	随筆(二)	ゆく河の流れ(方丈記) あだし野の露(徒然草) 花は盛りに(徒然草) 兼好法師が詞のあげつらひ(玉勝間)	20	・「無常」に対する鴨長明と兼好法師の考えを理解する。 ・「花の散り、月の傾くを慕ふ」ことについて、兼好法師と本居宣長はそれぞれどのように考えているか比較する。 ・劉邦が鴻門から脱出することができた理由を考えて話し合う。	行動観察 課題・レポート ワークシート 振り返りシート	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
	史伝	鴻門之会(史記) ・ 剣舞 ・ 頭髪上指す ・ 豎子、互に謀るに足らず	1		後期中間考査	○	○	
12 1 2	歴史物語	花山天皇の出家(大鏡)	29	・花山天皇の出家はどのように行われたのか、道兼の行動に注意しながらまとめる。	行動観察 課題・レポート ワークシート 振り返りシート	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
	軍記物語	忠度の都落ち(平家物語)		・「前途程遠し、思ひを雁山の夕べの雲に馳す」という朗詠を行った時の忠度の心情を想像し、話し合う。				
	思想	性善(孟子) 性悪(荀子) 無為之治(老子) 無用之用(老子) 小国寡民(老子) 未来に備える遺伝子 侵官之害(韓非子)		・性善説と性悪説の比較を通して、中国思想についての理解を深める。 ・「未来に備える遺伝子」を読んで、単元内で学習した諸子百家の文章に見える考え方の共通点を考える。 ・法家の考え方を理解し、中国思想についての理解を深める。				
	文章	売油翁(帰田録) 『莊子』養生主篇 『莊子』天道篇	1	・単元内の教材の学習を踏まえて、道家思想が後世の文章に影響を与えた経緯を学習する。	学年末考査	○	○	
			105					

#### 4. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の3つの観点から行います。

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</li> <li>・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。</li> <li>・ 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</li> <li>・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</li> <li>・ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。</li> <li>・ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</li> <li>・ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</li> <li>・ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。</li> <li>・ 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。</li> <li>・ 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> <li>・ 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。</li> <li>・ 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。</li> <li>・ 粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。</li> </ul>

このため、評価は具体的には次のものを対象とします。

- ・ 年4回の定期考査（前期中間・前期期末・後期中間・学年末）

※各考査の出題範囲は各考査直前までの学習内容を原則とします。

- ・長期休暇明けの課題考査2回（夏・冬）および課題への取り組み状況
- ・学習への参加状況（ノートづくり、話し合いへの取り組み状況・授業中の発言など）
- ・週1回の古文単語テスト

また、1年間の評定は、前期・後期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

## 5. 特に強調しておきたい点

古典は予習をして授業に臨むことが基本です。正しい予習のやり方は以下の通りです。

1. 本文を一読する。（音読するのが望ましい）
2. 本文をノートに書き写す。
3. 文法事項に気をつけながら、自力で現代語訳をする。（その際、分からない単語が出てきたら辞書を引き、語句の意味を書き出す）
4. 本文の内容についてまとめる。

これだけのことをやって授業を受けるのと、全く何もやらずに授業を受けるのでは大きな差が出ます。本文の全てを完璧に訳してくる必要はありません。分からないところは授業で聞いて分かるようにすればいいのです。予習は分からないところを見つけてくる作業を中心にしてください。

科目	地理総合			年次・コース	2年
単位数	2	使用教科書	「地理総合 改訂版 世界に学び地域へつなぐ」(山川出版社) 「新詳高等地図」(帝国書院)	副教材・問題集等	「新編地理資料2026」(とうほう) 「地理総合 改訂版 ワークブック」(山川出版社)

1. 科目の目標

- 1 地図や地理情報システム (GIS) などを活用して、地理的な見方・考え方を働かせて地理に関する情報を適切に調べとめる力を身に付けます。
- 2 グローバルな視点から国際理解や生活文化の多様性を理解するとともに、諸課題について多面的・多角的に考察する力を培います。
- 3 地域的な視点から防災などの諸課題に対して意欲的に探究して持続可能な社会づくりを構想し、それをもとに議論する力を養います。
- 4 1~3の学習を通じて国際社会に生きる日本人としての自覚、国土に対する愛情、世界の多様な生活文化することの大切さについての自覚・資質を深めます。

2. 評価の観点の趣旨

知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
地理に関わる世界の生活文化の多様性や、防災・地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察したことを効果的に説明し、それをもとに議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現に向けて主体的に課題を解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察を通じて涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

3. 学習の計画

月	単元	指導項目	予定時間	主な学習活動(指導内容)と到達目標	評価の場面・方法	評価の観点		
						a	b	c
4 5	第1章 地図とGISの活用	1 球面上の世界	14	緯度・経度の基本的なしくみを理解し、時差計算の技術を身に付ける。	行動観察 ワークシート 課題確認 振り返りシート	○	○	○
		2 世界からみた日本の位置と領域		グローバルな立場から国境や国家の領域の世界的な基準を捉え、日本が抱える周辺諸国間との領有権の問題や海洋資源の利用について考察する。				
		3 国内や国家間の結びつき		統計地図やグラフのつくり方・読み取り方を身に付け、資料を根拠とした多面的・多角的な課題解決策を考察する。				
		4 暮らしのなかの地図とGIS		地図情報の有用性と紙地図・電子地図としてのGISがあることを理解し、GISの利用方法を身につける。				
6 7 9	第2章 地理的環境の特色	1 地形	12	世界の大地形の広がりや外的営力による地形の形成を理解し、それらの影響による人々の生活環境の変化について資料から考察する。	行動観察 ワークシート 課題確認 定期考査 振り返りシート	○	○	○
		2 気候		大気や海流が循環するしくみを捉え、熱帯・乾燥帯・温帯・亜寒帯・寒帯の各気候が人々の生活文化に多様な影響を与えていることを理解する。				
		3 産業		第1次・第2次・第3次産業の地域的な特徴を主題図などの資料を通じて理解する。				
		4 宗教・言語		世界でみられる生活文化の多様性について資料を通じて理解するとともに、マイノリティをふまえた多様な人々に配慮した自他の文化を尊重する社会の実現を考察する。				
9 10 11	第3章 世界各地の生活文化	1 東アジア	16	社会経済システムの変化に着目して、東アジアの中国と韓国を例に両国の特徴を主題図やグラフなどの資料を通じて考察する。	行動観察 ワークシート 課題確認 定期考査 振り返りシート	○	○	○
		2 ASEAN諸国		多民族社会と地域統合に着目し、東南アジア諸国の人々の生活文化にはどのような特色がみられるのか、主題図や写真などの資料をもとに理解する。				
		3 南アジア		水資源に着目し、自然環境を捉えながら宗教・農業・文化・産業の成立の関わりを主題図やグラフなどの資料を通じて理解する。				
		4 イスラーム圏		イスラームに着目し、気候条件・宗派・資源・少数民族の問題など、社会問題を例に主題図や写真などの資料を用いて理解する。				
		5 アフリカ		自然環境と生活文化の多様性に着目し、資源開発などを背景とした近年の経済成長について主題図や写真などの資料を通じて理解する。				
		6 EUと周辺諸		農業の発展と地域統合に着目し、多様性と一体化をもつ産業の特徴やその歴史的背景、またこれからのヨーロッパ社会について主題図やグラフなどの資料をもとに理解する。				
		7 ロシア		寒冷な自然環境に着目し、ロシアを例に気候に制約を受ける農業や豊富な鉱物資源を背景にした他国との結びつきについて主題図やグラフなどの資料をもとに理解する。				
		8 アメリカ・カナダ		社会経済システムのグローバル化に着目し、多様な民族構成をもつ社会の歴史や多国籍企業が世界の経済や生活文化に影響を与えていることを主題図や写真などの資料をもとに理解する。				
		9 ラテンアメリカ		開発に着目し、多様な人々が生活している理由や産業の多様性がみられる理由について主題図やグラフなどの資料をもとに植民地時代の開発や近年の社会経済システムの変化から考察する。				
		10 オセアニア		開発に着目し、オーストラリアとニュージーランドの自然環境の違いを比較し、主題図や写真などの資料から植民の歴史とそこに展開する産業と両国の生活文化の違いを理解する。				
11 12 1	第4章 地球的課題と国際協力	1 地球環境	14	地球規模でおきている環境問題は一国だけでは対応できないこと、持続可能な地球社会の実現には多面的・多角的に考察することが必要であることを、SDGsをふまえて主体的に考察する。	行動観察 ワークシート 課題確認 定期考査 振り返りシート	○	○	○
		2 資源・エネルギー		地球規模でおこる資源問題について保有国・非保有国間の格差、資源の枯渇を認識してこれらの解決のためにSDGsと関連付けて考察する。				
		3 人口・食料		人口が急増している世界の現状を捉えるとともに、資料から人口問題の背景と構造を整理し、主題図やグラフなどの資料を集めて根拠をもとに対応策を構想する。				
		4 居住・都市		都市に人口が集まることを主題図やグラフから読み取り、問題の要因を理解しながら都市問題の改善をSDGsと関連付けて解決策を考察する。				
1 2 3	第5章 生活圏の諸課題	1 日本の自然環境と防災	14	日本列島の地形・気候・自然災害の特徴を、資料をもとに理解し、地図などを活用して災害の具体例を捉えたり防災・減災について思考したりする。	行動観察 ワークシート 課題確認 定期考査 振り返りシート	○	○	○
		2 生活圏の諸課題と地域調査		日本が抱える地域的な課題について、身近な地域を例に景観観察や聞き取りを通じた調査技能を身につけ、得られた結果を主題図などにまとめ、地域の活性化に向けたまちづくりのプランを発表する技能を身に付ける。				
			70					

#### 4. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の3つの観点から行います。

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"><li>○地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や地球的・地域的課題への取組などを理解している。</li><li>○地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切に調べまとめる技術を身に付けている。</li></ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"><li>○地理に関わる事象の意味や意義を概念として捉えて考察することができる。</li><li>○考察に基づいて地理的課題を公正に判断することができる。</li><li>○地理的課題について考察したり判断したりしたことを効果的に説明することができる。</li></ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"><li>○地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現に向けて主体的に解決しようとしている。</li><li>○日本国民としての自覚と我が国の国土に対する愛情をもち、世界の多様な文化を尊重する態度を身に付けている。</li></ul>

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

- ・年4回の定期考査では、ペーパーテストによって出題範囲の習得状況を評価します。
- ・課題追求学習の際のレポートを評価のための資料とします。また、学習活動の様子や発表、討論などの様子も評価のための資料とします。
- ・自己評価、振り返りシートを評価の参考とします。

また、1年間の評定は、前期・後期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

#### 5. 特に強調しておきたい点

地理に関する基礎的・基本的な学習を行っていきます。地理の学習は、地球上でおきているさまざまな現象に関心をもち、「なぜ」そのような現象がおきるのかを知るが目的です。よって学習においては、①地理的事象の因果関係を考えながら学習すること、②教科書に書かれていることを大切にすること、③地図帳を活用すること、④グラフや地図、統計などを読解する能力を高めること、⑤日ごろから新聞等に目を通し、現代社会の動向に目を配る、以上5つを大切にして「暗記」だけでなく「思考」することを常に意識しましょう。

科目	日本史探究		年次・コース	2年文系クラス	
単位数	3	使用教科書	副教材・問題集等	新詳日本史（浜島書店） 4ステージ演習ノート日本史（数研出版） 山川一問一答日本史（山川出版社）	
		詳説日本史 （山川出版社）			

1. 科目の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

2. 評価の観点の趣旨

知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3. 学習の計画

月	単元	指導項目	予定時間	主な学習活動（指導内容）と到達目標	評価の場面・方法	評価の観点		
						a	b	c
4	第1章 日本文化のあけぼの	1 文化の始まり	6	①人類文化の発生を考え、日本列島における旧石器文化・縄文文化の時代の社会を理解する。 ②打製石器・磨製石器・縄文土器の発掘、堅穴住居の状況など考古学の成果によって教科書の叙述が成り立っていることに気づく。	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート	○	○	○
		2 農耕社会の成立						
	歴史資料と原始・古代の展望	1 古代社会と海外との交流	2	①中国の歴史書の記事をもとに、日本列島の倭の小国やヤマト政権と中国・朝鮮半島の諸国との交流について、多面的・多角的に考察する。 ②古代の対外交渉がヤマト政権や律令国家の展開に向かってどのように変化していったか、仮説を表現して展望する。 ①遺跡から出土した木簡の記載内容をもとに、文書主義を特徴とする律令制のもとで人・物・情報がどのように移動していたのか多面的・多角的に考察する。 ②古代の中央・地方をめぐる物流や地方における文字文化の広がりについて、仮説を表現して展望する。	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート	○	○	○
		2 木簡から古代国家を探る						
5	第2章 古墳とヤマト政権	1 古墳文化の展開	7	①地域の首長の出現から統一国家に至る過程を、古墳の変容から捉える。 ②ヤマト政権による国家の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察する。 ③古墳時代後期から終末期の変容と、ヤマト政権の政治制度を理解する。	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート 小テスト	○	○	○
		2 飛鳥の朝廷						
	第3章 律令国家の形成	1 律令国家への道	5	①律令国家が成立するまでの政治過程について考察する。 ②律令にもとづく国内統治体制について理解する。	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート 小テスト	○	○	○
6			1	前期中間考査		○	○	
	第3章 律令国家の形成	2 平城京の時代	10	①律令体制の完成期としての奈良時代を、律令体制の状況を多面的・多面的にとらえて考察する。 ②平城京における政治動向について、土地政策も含めて考察する。 ①律令国家の成立期に当たる白鳳文化の形成過程について考察する。 ②天平文化における政治性と国際性、国家仏教の展開などに着目して、古代国家の展開を理解する。 ①平安前期を中心とした古代国家の推移について、東北経営や政治改革、地方統治の変容を踏まえて、律令体制の変質を考察する。 ②東アジアとの関係を踏まえて、唐風文化である弘仁・貞観文化を理解する。	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート 小テスト	○	○	○
		3 律令国家の文化						
		4 律令国家の変容						
7 8	第4章 貴族政治の展開	1 摂関政治	9	①藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察する ②日本と東アジアとの関係において、民間の貿易や交流が中心となったことをとらえる。 ①大陸文化の消化と末法思想を前提とした新しい貴族文化として、国風文化が展開されたことを理解する。 ②摂関政治の在り方と文化の展開にどのような関係があるかを考察する。 ①律令制にもとづく地方統治体制の崩れへの対応が、公領支配の変質、荘園の拡大をもたらした経過を考察する。 ②地方の反乱やその鎮圧など、武士の成長過程について、源氏などを例にとって考察する。	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート 小テスト	○	○	○
2 国風文化								
3 地方政治の展開と武士								
9	第5章 院政と武士の躍進	1 院政の始まり	5	①院政前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。 ②外戚関係や人材登用など。後三条天皇が摂関家に遠慮せず改革を進めた背景	行動観察 プリント 課題確認	○	○	○

		2 院政と平氏政権		を考察する。 ①政治の動向、国際関係・経済・文化への対応を踏まえて、平氏政権の特性について考察する。 ②古代から中世への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。	振り返りシート 小テスト	○	○	○
	歴史資料と中世の展望	絵画から中世社会を 探る	1	①政治や文化の中心であった中世の京都を描いた絵画作品から、情報を収集して読み取る技能を身につける。 ②資料から適切に読み取った情報をもとに、中世の特色についての仮説を表現して展望する。	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート	○	○	○
	第6章 武家政権の成立	1 鎌倉幕府の成立	3	①鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。 ②鎌倉幕府の成立時期をめぐる諸説に関して、それぞれの根拠を明確にして考察する。	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート 小テスト	○	○	○
			1	前期期末考査		○	○	
10	第6章 武家政権の成立	2 武士の社会  3 モンゴル襲来と幕府の衰退	7	①承久の乱にともない公武関係の変化に着目して、將軍独裁体制から執権政治の確立に至る過程を理解する。 ②武士の生活と地方支配を通じて、土地に対する実質的な支配権を地頭が掌握するに至った過程を考察する。 ①モンゴル襲来による政治・経済・文化への影響が、幕府の衰退につながっていくことを理解する。 ②非御家人に対する権限拡大など、幕府勢力が西国に浸透したことの意義を考察する。	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート 小テスト	○	○	○
11	第6章 武家政権の成立	4 鎌倉文化	3	①庶民や武士の活動が活発化し、鎌倉仏教が成立するなど、文化の新しい気運が生まれたことを理解する。 ②伝統的な公家文化の世界で、有職故実・古典研究などの学問が進展した背景を理解する。	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート 小テスト	○	○	○
	第7章 武士社会の成長	1 室町幕府の成立  2 幕府の衰退と庶民の台頭	8	①南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。 ②琉球・蝦夷ヶ島を含む東アジアとの交流が中世日本にもたらした影響について理解する。 ①庶民の活動が社会秩序の変革の原動力として成長していったことを踏まえて、幕府の動揺や下剋上の風潮を考察する。 ②諸産業の発達による庶民の台頭を踏まえて、中世社会の多様な展開を幅広く理解する。	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート 小テスト	○	○	○
			1	後期中間考査		○	○	
12	第7章 武士社会の成長	3 室町文化  4 戦国大名の登場	7	①武家政権の支配の進展や東アジア世界との交流に着目して、武家文化と公家文化および、大陸文化と伝統文化の関わりについて理解する。 ②庶民文化の萌芽や、応仁の乱を契機とした文化の地方伝搬、戦国大名の保護による文化の地方普及を理解する。 ①応仁の乱以降、地方権力として登場した戦国大名や各地に展開した都市について、諸地域の地理的条件と関連づけて考察する。	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート 小テスト	○	○	○
1	第8章 近世の幕開け	1 織豊政権  2 桃山文化	7	①大航海時代と呼ばれる世界史的背景を踏まえて、ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を考察する。 ②織田信長の統一事業、豊田秀吉の天下統一、秀吉の朝鮮侵略と続く織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について理解する。 ①新興の大名や都市の豪商の精神を反映した桃山文化について、町衆の生活にも着目し、時代的背景を踏まえて考察する。 ②中世から近世への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート 小テスト	○	○	○
	歴史資料と近世の展望	生類憐みの令からみる江戸時代の社会の変化	1	①生類憐みの令として知られる一連の法令から、情報を収集して読み取る技能を身につける。 ②資料から適切に読み取った情報をもとに、近世の特色についての仮説を表現して展望する。	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート	○	○	○
	第9章 幕藩体制の成立と展開	1 幕藩体制の成立	7	①江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を理解する。 ②江戸幕府の鎖国政策について、単なる対外貿易の遮断ではないことを理解し、鎖国後の貿易関係の在り方も含めてその影響と歴史的意義について考察する。	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート 小テスト	○	○	○
2	第9章 幕藩体制の成立と展開	2 幕藩社会の構造  3 幕政の安定	6	①幕藩体制の確立期の経済・社会を、兵農分離や村落・都市支配などの観点から、多面的・多角的に考察する。 ②被支配身分の特質や、周縁部分に生きる人々の社会的役割について理解する。 ①17世紀後半から18世紀前半までの江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察する。 ②諸藩における政治の安定化や刷新について、その特色を理解する。	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート 小テスト	○	○	○
			1	学年末考査		○	○	
3	第9章 幕藩体制の成立と展開	4 経済の発展  5 元禄文化	7	①幕藩体制の安定期の農業・商工業などの発展について、諸産業相互の関係やその社会的役割を踏まえて考察する。 ②全国市場の確立や都市の発達で商品流通が拡大し、各地で風土に応じた特産物が生まれたことを理解する。 ①経済の発展と関連して町人文化が形成されたことについて、町人の社会的台頭や幕藩体制の安定と関連させて理解する。 ②儒学の特色を理解し、その発達が他の学問に与えた影響を考察する。	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート 小テスト	○	○	○
			105					

#### 4. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の3つの観点から行います。

知識・技能

○日本の歴史の変化に関わる諸事象の基本的な課題や事柄について理解し、その知識を身に付けているか。また、学び方を身に付けているか。  
○日本の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択することができるか。また

	得られた資料や情報を効果的に活用し、学び方を身に付けているか。
思考・判断・表現	○日本の歴史の変化に関わる諸事象から課題を見出し、広い視野から多面的・多角的に考察しているか。 ○課題について国際社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえて公正に判断しているか。 ○課題についての考察や判断の過程や結果を様々な方法で適切に表現しているか。
主体的に学習に取り組む態度	○日本の歴史の変化に関わる諸事象の基本的な課題や事柄について関心を高め、主体的に追究しているか。 ○歴史的事象を総合的に考察しようとする態度を身に付けているか。 ○よりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付けているか。

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

- ・定期考査では、ペーパーテストによって出題範囲における習得の状況进行评估します。
- ・定期考査以外に適宜、確認テストによって単元ごとの習得の状況を確認します。
- ・課題追究学習の際のレポート、学習活動の様子や発表、討論などの様子を評価のための資料とします。
- ・自己評価、振り返りシートを参考とします。

また、評定は、上記の内容を総合的に判断して決定します。

## 5. 特に強調しておきたい点

歴史など勉強しなくていい、そう思う人もいるでしょう。しかし、この数年、歴史的な出来事が多く起こっています。正に歴史の中を生きているという実感があります。時代の変化や大きな事件、災害、さまざまな課題に直面した時に、どのように考え、対処していくことが求められるのでしょうか。その答えははっきりと示されてはいませんが、ヒントは歴史の中にあります。これまで多くの時代の変わり目がありました。先人たちの歴史の営みを学ぶことで、よりよい考えがみつかるかもしれません。「私」自身や「私のまわり」の物事や現象について考えるとき、それらには歴史的な背景があり、そのようになっていることを意識するとよいのか。「私たち」は歴史の中の当事者です。当事者として、身近なところから学ぶきっかけを見出し、問いを設定して歴史を考えてみませんか？

科目	世界史探究		学年	2	指導クラス	文系	指導者名
単位数	3	使用教科書	詳説世界史(山川出版社)		副教材・問題集等	時代と流れで覚える！世界史用語(文英堂) アカデミア世界史(浜島書店) 世界史一問一答【完全版】(東進ブックス)	

1. 科目の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

2. 評価の観点の趣旨

知識・技能(技術) a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3. 指導及び評価計画

月	単元	指導項目	予定時間	主な学習活動(指導内容)と到達目標	評価の場面・方法	評価の観点		
						a	b	c
4	世界史へのまなざし	1 自然環境と人類の進化 2 砂糖とコーヒーからみる世界の歴史など	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>人類の誕生と進化を地球46億年の歴史のなかに位置づけて考察する。</li> <li>自然環境と人類の関わりの概要を理解する。</li> <li>歴史的に形成されてきた概念が日常生活の中にあることを理解する。</li> <li>モノの見方や考え方や社会の仕組みとの関係を考察する。</li> </ul>	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート	○	○	○
	5	第1章 文明の成立と古代文明の特質	1 文明の誕生	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然環境の変化と農耕・牧畜の開始との関係について考察し、文明誕生の基礎について理解する。</li> <li>おもな古代文明の立地について考察し、文明が生まれるために必要だった条件を理解する。</li> </ul>	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート	○	○
2 古代オリエント文明とその周辺			4	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリエントの風土と、その文明の歴史的特質の関係を考察する。</li> <li>都市国家に富や権力が集まった理由を考察する。</li> <li>メソポタミア文明が今日に残した文化的遺産を理解する。</li> <li>エジプト王国が長期にわたって安定した支配を続けられた理由を考察する。</li> <li>シリア・パレスチナ地方で多くの民族が興亡を繰り返した背景を理解する。</li> <li>クレタ文明とミケーネ文明を比較し、両者の性格の違いを理解する。</li> <li>アッシリアがオリエントをはじめて統一することができた背景を考察する。</li> </ul>	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート	○	○	○
3 南アジアの古代文明		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>南アジアの多様性を生み出した地理的環境について理解する。</li> <li>南アジアの最古の文明であるインダス文明が栄えた場所の特徴を理解する。</li> <li>アーリア人の進入が南アジアにもたらした変化について考察する。</li> </ul>	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート	○	○	○	
4 中国の古代文明		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>東アジアでは、気候の異なる地域が混在していたことを理解し、それぞれの気候が各地の生業などに与えた影響を考察する。</li> <li>殷と周の支配形態を比較し、共通点と相違点を理解する。</li> <li>春秋時代と戦国時代を比較し、それぞれの政治的秩序を理解する。</li> <li>戦国時代の社会において、鉄器の普及がおよぼした影響を考察する。</li> </ul>	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート	○	○	○	
5 南北アメリカ文明		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>北米と中南米の先住民社会を比較し、共通点と相違点を理解する。</li> <li>中南米に様々な先住民文明が栄えたことを理解し、そこでの支配の在り方を考察する。</li> </ul>	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート	○	○	○	
6	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界	1 中央ユーラシア	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央ユーラシアの人々が営んでいた生活と風土との関係を理解する。</li> <li>騎馬遊牧民が強大な国家を築くことができた理由を考察する。</li> <li>遊牧国家の興亡がユーラシア大陸の東西にもたらした変動を理解する。</li> <li>オアシス民と遊牧民との関係を考察する。</li> </ul>	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート	○	○	○
		2 秦・漢帝国	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たに現れた「皇帝」の特質について、それまでの「王」と比較しながら理解する。</li> <li>漢の支配体制の変遷を理解する。</li> <li>統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を考察する。</li> </ul>	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート	○	○	○
		3 中国の動乱と変容	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊牧民族の動きと魏晋南北朝の動乱との関係について理解する。</li> <li>魏晋南北朝時代に仏教や道教が力をもつようになった要因や背景を考察する。</li> <li>魏晋南北朝時代の中国の情勢が、朝鮮や日本に与えた影響について理解する。</li> </ul>	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート	○	○	○

7・8	4 東アジア文化圏の形成	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・唐の勢力圏の広がりを理解する。</li> <li>・唐代初期の社会の特徴を考察する。</li> <li>・唐の制度や文化が近隣諸国に与えた影響について理解する。</li> <li>・安史の乱前後の唐の制度や社会の変化を考察する。</li> <li>・突厥・ウイグルと隋・唐の関係を理解する。</li> <li>・ソグド人の中央ユーラシアや東アジアにおける役割について理解する。</li> </ul>	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート	○	○	○	
	定期考査	1			○	○		
	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開	1 仏教の成立と南アジアの統一国家	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仏教やジャイナ教などの新たな宗教に共通する点について理解する。</li> <li>・南アジア最初の統一王朝であるマウリヤ朝のもとの仏教の発展について理解する。</li> <li>・クシャーナ朝と周辺諸地域との関係について考察する。</li> <li>・「海の道」の交易における南インドの役割を考察する。</li> </ul>	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート	○	○	○
	2 インド古典文化とヒンドゥー教の定着	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グプタ朝における宗教や文化の展開を理解する。</li> <li>・8～10世紀の諸勢力が割拠した時代における各政権の政策を理解する。</li> <li>・ヒンドゥー教が南アジアの社会に根づいていった背景を考察する。</li> </ul>	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート	○	○	○	
3 東南アジア世界の形成と展開	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東南アジアの風土について他のアジアや日本と比較した上で理解する。</li> <li>・東南アジアと南アジア・中国との関係を多面的に考察する。</li> <li>・東南アジアにおける国家形成の特徴を考察する。</li> </ul>	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート	○	○	○		
9	第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成	1 イラン諸国家の興亡とイラン文明	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アケメネス朝が広大な領域に中央集権の支配を築くことができた背景や要因を理解する。</li> <li>・パルティアとササン朝の繁栄の背景や要因を理解する。</li> <li>・パルティアとササン朝が東西の文明の間で担った役割を考察する。</li> </ul>	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート	○	○	○
	2 ギリシア人の都市国家	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポリスの特徴およびそこでの人々の生活について、オリエントの都市国家と比較した上で理解する。</li> <li>・スパルタが軍国主義をしいた理由を考察する。</li> <li>・民主政発達の経緯および現代の民主主義との相違点について理解する。</li> <li>・ギリシアの諸ポリスがマケドニアに敗れた要因を考察する。</li> <li>・ヘレニズム時代の歴史的意義を考察する。</li> <li>・ギリシア文明が近代ヨーロッパにもたらした影響を考察する。</li> </ul>	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート	○	○	○	
	3 ローマと地中海支配	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ローマ共和政の特徴について、ギリシア民主政と比較した上で多面的・多角的に考察する。</li> <li>・地中海における領土拡大がローマ共和政に与えた影響を理解する。</li> <li>・ローマの内乱の発生から終息までの経緯を理解する。</li> <li>・「ローマの平和」が地中海世界に与えた影響を理解する。</li> <li>・ローマ帝国が危機を迎えた要因を考察する。</li> <li>・ローマ帝国の文化的意義を考察する。</li> </ul>	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート	○	○	○	
	4 キリスト教の成立と発展	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キリスト教の成立の経緯を理解する。</li> <li>・ローマ帝国によるキリスト教への対応を考察する。</li> </ul>	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート	○	○	○	
	定期考査	1			○	○		
10	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	1 アラブの大征服とイスラーム政権の成立	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アラブ＝ムスリム軍による大征服の展開を理解する。</li> <li>・ウマイヤ朝の領域的な広がりとその支配の特徴を理解する。</li> <li>・アッバース朝成立の背景とその統治の特徴を理解する。</li> <li>・イスラーム文化の成立の経緯を理解し、その特徴を多面的・多角的に考察する。</li> <li>・イスラーム政権の多極化が社会に与えた影響を考察する。</li> </ul>	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート	○	○	○
	2 ヨーロッパ世界の形成	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパの自然条件と大規模な人の移動との関係について理解する。</li> <li>・ビザンツ帝国の繁栄について、同時期の西ヨーロッパと比較した上で理解する。</li> <li>・ローマ教会とフランク王国の関係を考察する。</li> <li>・カールの戴冠が世界の歴史において持つ意義について理解する。</li> <li>・ノルマン人が西ヨーロッパ世界において果たした歴史的役割について理解する。</li> <li>・西ヨーロッパに特有の封建社会の仕組みについて理解する。</li> </ul>	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート	○	○	○	
11	第6章 イスラーム教の諸地域への伝播と西アジアの動向	1 イスラーム教の諸地域への伝播	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イスラーム化が中央アジアにもたらした変化について理解する。</li> <li>・南アジアにおいてイスラーム教が受け入れられていく経緯を理解する。</li> <li>・東南アジアにおいてイスラーム化が進んだ背景について考察する。</li> <li>・アフリカにおいてイスラーム化が進んだ要因を考察する。</li> </ul>	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート	○	○	○
	2 西アジアの動向	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トルコ人の進出が西アジアにもたらした変化について考察する。</li> <li>・十字軍やモンゴルの進出が西アジアにもたらした影響を考察する。</li> <li>・マムルーク朝のもとのカイロの繁栄がどのように実現したのか理解する。</li> <li>・イベリア半島におけるイスラーム勢力の興亡について理解する。</li> </ul>	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート	○	○	○	
11	第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開	1 西ヨーロッパの封建社会とその展開	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中世の西ヨーロッパにおいてローマ＝カトリック教会が普遍的な権威をもつにいたった背景を理解する。</li> <li>・十字軍の遠征の経緯を理解し、それが社会に与えた影響を考察する。</li> <li>・西ヨーロッパで商業が盛んになった理由を考察する。</li> <li>・中世の都市が獲得した政治的地位やそこでの人々の暮らしを理解する。</li> </ul>	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート	○	○	○
	2 東ヨーロッパ世界の展開	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビザンツ帝国の衰退の要因を考察する。</li> <li>・ビザンツ文化が果たした世界史的な意義について理解する。</li> <li>・スラヴ人が各地域で自立していった経緯を理解する。</li> </ul>	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート	○	○	○	
	3 西ヨーロッパ世界の変容	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・封建社会が解体に向かった背景を考察する。</li> <li>・教皇権の衰退と王権の伸張の関係について理解する。</li> <li>・各国における身分制議会の成立と王権の伸張の関係を理解する。</li> <li>・百年戦争によるイギリスとフランスの変容を考察する。</li> <li>・スペインで国王による中央集権化が早く進んだのはなぜか理解する。</li> <li>・神聖ローマ帝国で中央集権が進まなかった要因を考察する。</li> </ul>	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート	○	○	○	
	定期考査	1			○	○		

12	第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	1 アジア諸地域の自立化と宋	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10世紀前半に東アジアで政権の交替があいついだ背景や、そこで成立した諸国の共通点を理解する。</li> <li>・宋の対外関係の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・宋における社会や経済の発展の様子を理解する。</li> <li>・宋代の文化の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。</li> </ul>	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート	○	○	○
		2 モンゴルの大帝国	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モンゴル帝国が成立した背景を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・モンゴル帝国による支配が東アジアにおよぼした影響について理解する。</li> <li>・モンゴル帝国時代の東西交流の新しさを多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・モンゴル帝国解体の要因を理解する。</li> <li>・ティムール朝がモンゴル帝国から受け継いだものを多面的・多角的に考察し表現する。</li> </ul>	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート	○	○	○
1	第9章 大交易・大交流の時代	1 アジア交易世界の興隆	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モンゴル帝国解体後のアジア各地の状況について理解する。</li> <li>・明朝初期の国内統治の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・明との朝貢関係が諸地域にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・世界的な商業の発展が明の朝貢体制におよぼした影響を理解する。</li> <li>・明代後期の中国の社会・経済・文化と世界の商業の活発化との関係を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・16世紀の東南アジアで台頭した新興勢力の共通点を理解する。</li> </ul>	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート	○	○	○
		2 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパの人々が遠洋に乗り出していった動機や背景を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・ヨーロッパの人々の進出がアジアにもたらした影響や変化を理解する。</li> <li>・中南米の先住民が短期間でスペイン人に征服された要因を理解する。</li> <li>・16世紀に一体化が始まった「世界」の性格を多面的・多角的に考察し表現する。</li> </ul>	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート	○	○	○
	第10章 アジアの諸帝国の繁栄	1 オスマン帝国とサファヴィー朝	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オスマン帝国の基礎が築かれた経緯を理解する。</li> <li>・オスマン帝国の勢力拡大の経緯を理解する。</li> <li>・オスマン帝国の統治が当時の人々に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・サファヴィー朝の支配がイラン社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。</li> </ul>	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート	○	○	○
		2 ムガル帝国の興隆	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ムガル帝国の基礎が築かれた経緯を理解する。</li> <li>・ムガル帝国におけるヒンドゥー教徒とイスラーム教徒の関係を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・ムガル帝国の衰退の背景や要因を多面的・多角的に考察し表現する。</li> </ul>	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート	○	○	○
3 清代の中国と隣接諸地域		4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清朝の領土に組み込まれた民族と、彼らがどのように統治されていたかを理解する。</li> <li>・清代における周辺諸国と中国との関係について、明代と比較したうえで多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・漢人の社会や文化に対して清朝がどのような態度をとったのかを理解する。</li> </ul>	行動観察 プリント 課題確認 振り返りシート	○	○	○	
	定期考査	1			○	○		
		105						

#### 4. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の3つの観点から行います。

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>○世界史に関する諸事象の基本的な課題や事柄について理解し、その知識を身に付けているか。また、学び方を身に付けているか。</li> <li>○世界史に関する資料や情報を積極的・効果的に活用し、学び方を身に付けているか。</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○世界史に関する諸事象から課題を見出し、広い視野から多面的・多角的に考察しているか。</li> <li>○課題について国際社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえて公正に判断しているか。</li> <li>○課題についての考察や判断の過程や結果を様々な方法で適切に表現しているか。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○世界史に関わる諸事象の基本的な課題や事柄について関心を高め、主体的に追究しているか。</li> <li>○歴史的事象を総合的に考察しようとする態度を身に付けているか。</li> <li>○よりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付けているか。</li> </ul>

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

- ・定期考査では、ペーパーテストによって出題範囲における習得の状況の評価します。
- ・小テスト、学習活動の様子、発表または討論などの様子を評価のための材料とします。
- ・「振り返りシート」を評価のための参考とします。

また、1年間の評定は、前期・後期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

#### 5. 特に強調しておきたい点

歴史など勉強しなくていい、そう思う人もいるでしょう。しかし、この数年、歴史的な出来事が多く起こっています。正に歴史の中を生きているという実感があります。時代の変化や大きな事件、災害、さまざまな課題に直面した時に、どのように考え、対処していくことが求められるのでしょうか。その答えははっきりと示されてはいませんが、ヒントは歴史の中にあります。これまで多くの時代の変わり目がありました。先人たちの歴史の営みを学ぶことで、よりよい考えがみつかるかもしれません。「私」自身や「私のまわり」の物事や現象について考えるとき、それらには歴史的な背景や文脈があることを意識してみてもどうでしょうか。「私たち」は歴史の中の当事者です。当事者として、身近なところから学びきっかけを見出し、問いを設定して歴史を考えてみませんか？

数学Ⅱ（文系）

科目	数学Ⅱ		年次・コース	2年文系
単位数	3	使用教科書	「数学Ⅱ」（数研出版） 副教材・問題集等	「4STEP 数学Ⅱ + B + C」（数研出版） 「Focus Gold 6th Edition 数学Ⅱ + B + ベクトル」（啓林館）

1. 科目の目標

式と証明・高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。

2. 評価の観点の趣旨

知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現処理したりする技能を身に付けている。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。

3. 学習の計画

月	単元	指導項目	予定時間	主な学習活動（指導内容）と到達目標	評価の場面・方法	評価の観点		
						a	b	c
4 5 月	数学Ⅱ 3章 図形と方程式		22	・座標を用いて三角形や四角形などの基本的な平面図形の性質や関係を考察する ・式を用いて直線の性質や関係を数学的に処理する ・円とそれを表す方程式の関係を理解する ・円と直線の位置関係が、2次方程式の解の判別に帰着できることを考察する ・軌跡について理解し、軌跡を求めることができる ・不等式の表す領域を求めたり、領域を不等式で表したりすることができる ・座標平面上の図形について関係に着目し、それを方程式を用いて表し図形の性質や位置関係について考察する	週末課題 課題テスト 振り返りシート 行動観察 小テスト	○	○	○
	点と直線 円 軌跡と領域	1 直線上の点 2 平面上の点 3 直線の方程式 4 2直線の関係 5 円の方程式 6 円と直線 7 2つの円 8 軌跡と方程式 9 不等式の表す領域				○	○	○
6 月	前期中間考査					○	○	
7 月	数学Ⅱ 4章 三角関数		16	・三角関数の基本的性質やグラフ、その周期性に興味をもち、理解を深めようとする。 ・角の概念を一般の角まで拡張して考えることができる。 ・三角関数の基本的な性質をグラフから考察することができる。 ・三角関数の性質やグラフを理解し、方程式や不等式を解くことができる。 ・加法定理から、様々な公式を導くことができる。 ・加法定理などの公式を活用することができる。 ・三角関数の合成について理解し、活用できる。 ・加法定理や合成を用いて方程式や不等式を解くことができる。 ・三角関数で表された関数の性質を理解し、最大値と最小値を求めることができる。 ・和と積の変換公式を活用することができる。	週末課題 振り返りシート 行動観察 小テスト	○	○	○
	三角関数 加法定理	1 一般角と弧度法 2 三角関数 3 三角関数の性質 4 三角関数のグラフ 5 三角関数の応用 6 加法定理 7 加法定理の応用 8 三角関数の合成 発展 和と積の変換公式				○	○	○
7 月	数学Ⅱ 5章 指数関数・対数関数		5	・拡張された指数法則、累乗根について理解し、活用できる。	週末課題 振り返りシート 行動観察 小テスト	○	○	○
指数関数	1 指数の拡張	○				○	○	

9月	2	指数関数	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>指数関数のグラフをかき、関数値の増減の様子などを積極的に調べようとする。</li> <li>指数関数のグラフから特徴を理解し、大小関係を調べたり方程式や不等式を解いたりすることができる。</li> <li>指数関数の最大値・最小値を求めることができる。</li> <li>対数と指数の関係について理解しようとする。</li> <li>対数の性質、底の変換公式について理解し、活用できる。</li> </ul>	週末課題 振り返りシート 行動観察 小テスト	○ ○	○ ○	○ ○
	3	対数とその性質						
前期期末考査						○	○	
	4	対数関数	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>対数関数のグラフをかき、関数値の増減の様子などを積極的に調べようとする。</li> <li>指数関数のグラフから特徴を理解し、大小関係を調べたり方程式や不等式を解いたりすることができる。</li> <li>対数関数の最大値・最小値を求めることができる。</li> <li>常用対数表を用いて様々な常用対数の値を求めることができる。</li> <li>常用対数を利用して、桁数や小数第何位に0でない数字が現れるかが分かり、応用問題を解くことができる。</li> </ul>	週末課題 振り返りシート 行動観察 小テスト	○ ○	○ ○	○ ○
	5	常用対数						
10・11月	数学Ⅱ 6章 微分法と積分法							
11月	1 2	微分係数 導関数	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>微分係数や導関数についての考えのよさを認識し、事象を数学的に考察し処理しようとする。</li> <li>導関数の定義を理解し、導関数の公式を用いて微分の計算できる。</li> </ul>	週末課題 振り返りシート 行動観察 小テスト	○ ○	○ ○	○ ○
後期中間考査						○	○	
11・12月	5 6	最大値・最小値 関数のグラフと方程式・不等式	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>グラフを活用し、視覚的に最大値・最小値を求めようとする。</li> <li>最大値・最小値を求めることができる。</li> <li>3次方程式の解の個数とx軸との交点の個数の関係について理解できる。</li> <li>グラフを活用して、不等式の証明ができる。</li> </ul>	週末課題 振り返りシート 行動観察 小テスト	○ ○	○ ○	○ ○
1月	9	面積 数学ⅠAⅡBの総復習	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>定積分を利用して、図形の面積を考察することができる。</li> <li>数学ⅠAⅡBの知識を用いて様々な応用問題を自分の力で解こうとする。</li> <li>問題を自分で説明することができる。</li> </ul>	○ ○	○ ○	○ ○	
								学年末考査
			105					

<学習内容についての補足説明>

・各章や単元の終わりに小テストを実施し、学習到達度の確認をします。

4. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の3つの観点から行います。

知識・技能	基本的な概念や原理・法則、用語・記号などを理解し、数学的な知識を身に付けている。 また、基本事項を理解したうえで、それらの知識や数学的技能を応用した問題を解決する知識や技能を身に付けている。 社会の事象などから設定した問題について、数学Ⅰで学習した内容をもとに、事象を数学化したり数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりして問題を解決できる。
思考・判断・表現	主体的に問題を解決することを通して、文字に置き換えたり、帰納的に考えたりするなどの数学的な見方や考え方を身に付け、様々な事柄を数学的にとらえて論理的に考えるとともに、考えた道筋を振り返っていろいろな解法を考えたり、さらに問題を発展的に考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	主体的に問題を解決することを通して、数学的な見方や考え方の良さがわかり、それらを様々な事柄の考察に積極的に活用することができる。 問題解決に向け、知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりするなど、粘り強く取り組むことができる。 学習目標を設定し見通しを立てたうえで学習に取り組み、内容の途中や終了時に目標と現時点との差を確認し次につなげることができる。

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

- ・年4回の定期考査(前期中間・前期期末・後期中間・学年末)

※各考査の出題範囲は各考査直前までの学習内容を基本とします。

- ・長期休暇明けの課題考査2回(夏・冬)
- ・単元の学習後に実施する小テスト
- ・週末課題・長期休暇に出題される課題
- ・学習への参加状況(数学的活動への取り組み状況、授業中の発言の内容等)

また、1年間の評定は、前期・後期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

## 5. 特に強調しておきたい点

数学を学習することにおいて留意することは、単に公式や定理を暗記して問題を解くだけではなく、数学の用語・記号・公式・定理などを理解して身につけ活用することです。そうでないと、忘れてしまった場合に公式や定理などを想起することができなくなります。また、数学を学習していく過程で、帰納的な考え方、演繹的な考え方など、数学特有の見方や考え方を学ぶこととなります。このような見方、考え方の良さを理解し、何が本質であるかを見抜くことが大切であり、この本質をつかむと、道のいろいろな事柄にも見通しをもって対処することができるようになります。数学の学習を通して、見通しをもち筋道立てて考え、判断できる力を身につけるとともに、日常生活や社会生活において数学を積極的に活用することを期待します。

科目	数学B・C		年次・コース		2年文系
単位数	3	使用教科書	「数学B」「数学C」 (数研出版)	副教材・問題集等	「4STEP 数学II + B + C」(数研出版) 「Focus Gold 6th Edition 数学II + B + ベクトル」(啓林館)

1. 科目の目標

数列、統計的な推測について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。  
ベクトル、平面上の曲線と複素数平面について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

2. 評価の観点の趣旨

知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
数列、統計的な推測、ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活との関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3. 学習の計画

月	単元	指導項目	予定時間	主な学習活動(指導内容)と到達目標	評価の場面・方法	評価の観点		
						a	b	c
4月	数学B 第1章 数列							
	数列とその和	1. 数列 (1) 2. 等差数列とその和 (4) 3. 等比数列とその和 (3) 4. 和の記号 $\Sigma$ (2) 5. 階差数列 (2) 6. いろいろな数列の和 (4) 演習 (2)	18	・身の周りの数列に興味を示し法則性を見出そうとする。 ・等差数列を理解し、一般項を導くことができる。 ・等差数列の和の公式を理解し、和を求めることができる。 ・等比数列を理解し、一般項を導くことができる。 ・等比数列の和の公式を理解し、和を求めることができる。 ・ $\Sigma$ の公式を利用して和を求めることができる。 ・種々の数列の法則性を発見し、一般項や和を求めることができる。 ・事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現することができる。	週末課題 行動観察 小テスト 振り返りシート	○	○	○
	数学的帰納法	7. 漸化式と数列 (6) 演習 (2)	8	・隣接2項間の漸化式を理解し、具体的な各項を求めることができる。 ・様々な形の漸化式から一般項を求めることができる。	週末課題 行動観察 小テスト 振り返りシート	○	○	○
前期中間考査						○	○	○
7月	数学B 第1章 数列							
	数学的帰納法	8. 数学的帰納法 (6) 演習 (2)	8	・数学的帰納法による証明方法を理解し、等式・不等式が成り立つことの証明に利用できる。 ・漸化式から具体的に何項かを算出し、一般項を類推して、それが正しいことを数学的帰納法を用いて証明できる。	週末課題 行動観察 小テスト 振り返りシート	○	○	○
8月	数学B 第2章 統計的な推測							
	確率分布	1. 確率変数と確率分布 (1) 2. 確率変数の期待値と分散 (3) 3. 確率変数の変換 (1) 4. 確率変数の和と期待値 (3) 5. 独立な確率変数と期待値・分散 (3)	21	・確率変数や確率分布について用語の意味を理解している。 ・簡単な試行について、確率変数の確率分布を求めることができる。 ・確率変数の変換公式を理解し、それを利用して、期待値、分散、標準偏差を求めることができる。 ・確率変数の和の期待値を、公式を利用して求められる。 ・独立な確率変数の積の期待値、和の分散が求められる。 ・二項分布に従う確率変数の期待値、分散、標準偏差を求め	週末課題 行動観察 小テスト 振り返りシート	○	○	○

9月	6. 二項分布 (3) 7. 正規分布 (5) 演習 (2)		ることができる。 ・標準正規分布に従う確率変数Zの確率が求められる。 ・正規分布に従う確率変数Xを標準正規分布に従う確率変数Zに変換して確率が求められる。 ・二項分布を正規分布で近似して確率を求められる。				
	前期期末考査				○	○	
10月	数学B 第2章 統計的な推測						
	統計的な推測	8. 母集団と標本 (2) 9. 標本平均とその分布 (3) 10. 推定 (2) 11. 仮説検定 (4) 演習 (2)	13	・母集団分布と大きさ1の無作為標本の確率分布が一致することを理解し、母平均、母標準偏差が求められる。 ・標本平均の分布を正規分布で近似して確率を求めることができる。 ・推定に関わる用語・記号を適切に活用することができる。 ・信頼区間の考え方をを用いて、母平均や母比率の推定ができる。 ・仮説検定の意味を理解し、正規分布を用いた仮説検定ができる。	週末課題 行動観察 小テスト 振り返りシート	○ ○ ○	○ ○ ○
11月	数学C 第1章 平面上のベクトル						
	平面上のベクトルとその演算	1. 平面上のベクトル (1) 2. ベクトルの演算 (3) 3. ベクトルの成分 (2) 4. ベクトルの内積 (4) 演習 (2)	12	・有向線分を用いたベクトルの定義や表し方を理解できる。 ・ベクトルの演算の仕組みを理解し、ベクトルについて、加法、減法、実数倍を考察することができる。 ・ベクトルの分解について理解し、ベクトルを2つのベクトルの1次結合の形に表現できる。 ・成分表示されたベクトルを、2つのベクトルの1次結合の形に表現できる。 ・大きさとなす角でベクトルの内積を計算ができる。また、成分表示されたベクトルの内積を計算することができる。 ・内積の性質を理解し、計算に利用できる。	週末課題 行動観察 小テスト 振り返りシート	○ ○ ○	○ ○ ○
後期中間考査					○	○	
12月	数学C 第1章 平面上のベクトル						
	ベクトルと平面図形	5. 位置ベクトル (2) 6. ベクトルと図形 (4) 7. ベクトル方程式 (4) 演習 (2)	12	・線分の内分点、外分点、三角形の重心を位置ベクトルで表す公式を理解している。 ・線分上の点を、線分をs : (1-s)に内分する点として処理できる。 ・直線のベクトル方程式について、媒介変数を用いて表すことができる。 ・ベクトルを用いて2直線のなす角を求めることができる。 ・円や円の接線のベクトル方程式を理解している。	週末課題 行動観察 小テスト 振り返りシート	○ ○ ○	○ ○ ○
1月	数学C 第2章 空間のベクトル						
		1. 空間の座標 (2) 2. 空間のベクトル (1) 3. ベクトルの成分 (1) 4. ベクトルの内積 (1) 5. 位置ベクトル (1) 6. ベクトルと図形 (3) 7. 座標空間における図形 (2) 演習 (2)	13	・空間図形において、ベクトルの和や差を考慮することができる。 ・成分表示されたベクトルの和、差の計算ができる。 ・成分表示されたベクトルを、3つのベクトルの1次結合の形に表現できる。 ・立体図形におけるベクトルの内積を、適切な方法で計算できる。 ・ベクトルの垂直条件を理解し、計算に利用できる。 ・ある点が3点で定まる平面上にあるための必要十分条件を理解し、それを利用することができる。 ・座標空間における線分の内分点・外分点などの座標が求められる。 ・座標軸に垂直な平面の方程式、球面の方程式について理解している。	週末課題 行動観察 小テスト 振り返りシート	○ ○ ○	○ ○ ○
学年末考査					○	○	
		105					

#### 4. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の3つの観点から行います。

知識・技能	数列などの意味や原理・法則、用語・記号などを理解し、数学的な知識を身に付けている。 様々な事柄を数学的にとらえ、文字で表現したり方程式を解いたりする方法を身に付け、よりよく問題を解決することができる。
思考・判断・表現	主体的に問題を解決することを通して、文字に置き換えたり、帰納的に考えたりするなどの数学的な見方や考え方を身に付け、様々な事柄を数学的にとらえて論理的に考えたとともに、考えた道筋を振り返っているいろいろな解法を考えたり、さらに問題を発展的に考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	主体的に問題を解決することを通して、文字に置き換えたり、帰納的に考えたりするなどの数学的な見方や考え方の良さがわかり、それらを様々な事柄の考察に積極的に活用しようとしているか。

問題解決に向け、知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりするなど、粘り強く取り組むことができる。
---

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

- ・年4回の定期考査(前期中間・前期期末・後期中間・学年末)  
※各考査の出題範囲は各考査直前までの学習内容を基本とします。
- ・長期休暇明けの課題考査3回(春・夏・冬)
- ・単元の学習後に実施する小テスト
- ・週末課題・長期休暇に出題される課題
- ・学習への参加状況(数学的活動への取り組み状況、授業中の発言の内容等)

また、1年間の評定は、前期・後期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

## 5. 特に強調しておきたい点

数学を学習することにおいて留意することは、単に公式や定理を暗記して問題を解くだけではなく、数学の用語・記号・公式・定理などを理解して身に付け活用することです。そうでないと、忘れてしまった場合に公式や定理などを想起することができなくなります。また、数学を学習していく過程で、帰納的な考え方、演繹的な考え方など、数学特有の見方や考え方を学ぶこととなります。このような見方、考え方の良さを理解し、何が本質であるかを見抜くことが大切であり、この本質をつかむと、道のいろいろな事柄にも見通しをもって対処することができるようになります。数学の学習を通して、見通しをもち筋道立てて考え、判断できる力を身に付けるとともに、日常生活や社会生活において数学を積極的に活用することを期待します。

科目	地学基礎		年次・コース	2年 文系
単位数	2	使用教科書 改訂版 高等学校 地学基礎（数研出版）	副教材・問題集等	新課程フォトライフス地学図録（数研出版） 新課程リードα地学基礎（数研出版）

## 1 科目の目標

地学的な事物・現象に対する探究力を高め、目的意識をもって観察・実験を行い、地学的に探求する能力と態度を身につけるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を獲得する。

## 2 評価の観点の趣旨

知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
地学に関する基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などにおける操作や記録方法などの基本的な技能を身につけている。	地学や地学現象に対する疑問をもち、その解決に向けて地学的な知識をもとに考察できる。観察・実験を通して、得られた結果を分析して考察できる。また、これらの過程において自らの考えを科学的根拠をもって表現し、議論することができる。	身近な地学現象に対して関心をもち、知識・技能をもとにそれらの理解を深め、探求しようとしている。環境問題など科学の発展に伴う現代の問題に対して、自らも社会の一員である自覚をもち、自分の考えを表現し、議論しようとしている。また、自らの取り組みを振り返り、評価して改善に努めている。

## 3 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

月	単元名	使用教科書項目	主な学習活動(指導内容)と評価のポイント	評価の場面 ・方法	評価の観点		
					a	b	c
4月	第1編 活動する地球	地球の形と大きさ	地球の形は厳密には球ではないことを理解する。	行動観察	○		○
5月		地球の構造	地球内部の層構造と構成物質を理解する。				
5月		プレートテクトニクスと地殻変動	プレート運動と境界の関係、運動に伴って起こる地殻変動を理解する。	行動観察 実習レポート	○		○
		プレート運動のしかた	プレートが動く原動力を理解する。			○	○
6月	第2編 移り変わる地球	地震	地震波の伝わり方を理解する。	行動観察 実習レポート	○		○
		地震の分布	地震の分布や発生場所とそのしくみを理解する。			○	○
		地震災害	地震災害を知り、場所や条件の特徴を理解する。				○
6月	前期中間考査				○	○	
	火山活動	火山が分布する地域とマグマが発生するしくみとの関連について理解する。	行動観察 実習レポート 振り返りシート	○		○	
	火成岩	火成岩や造岩鉱物の種類とその特徴を理解する。			○	○	
火山による恵みと災害	災害の予測や防災の取り組みについて理解する。				○		
7月	第2編 移り変わる地球	堆積作用と堆積岩	堆積により形成される地形や、堆積岩の形成過程を理解する。	行動観察 夏季課題	○		○
8月		地層の形成	地層から読み取れる情報について理解する。			○	○
9月		化石と地質時代の区分	化石からわかる地球の歴史を理解する。	行動観察	○		○

月		古生物の変遷	古生物の変遷と地球環境の変化の関係について理解する。	実習レポート 振り返りシート		○	○
前期末考査					○	○	
10月	第3編 大気と海洋	大気の大循環	大気の大循環が生じるしくみを理解する。	行動観察	○		○
		地球全体の熱収支	地球の熱収支と温室効果のしくみを理解する。				
11月		海水の運動	海流や深層循環が生じる原因を理解する。	実習レポート		○	○
		日本の天気と気象災害	日本の天気の特徴と、気象災害について理解する。	振り返りシート			○
後期中間考査					○	○	
12月	第4編 地球の環境	気候の自然変動	エルニーニョが起こるしくみを理解する。	行動観察	○		○
		人間活動による環境変化	人間活動による影響や、環境変化が起こるしくみと対策について理解する。	冬季課題	○	○	
		日本の自然環境	地形や水資源に関する日本の特徴を理解する。	振り返りシート			
1月	第5編 太陽系と宇宙	太陽系の天体	8つの惑星の特徴と、それ以外の太陽系の天体について理解する。	行動観察	○		○
		太陽	太陽の構造とエネルギー源を理解する。	実習レポート		○	○
2月		太陽系の誕生と現在の地球	惑星の形成過程と、地球が生命を生み出すことができた条件を理解する。				
3月		宇宙の誕生	銀河系の構造と、宇宙の誕生から現在までに起こった出来事を理解する。	行動観察	○		○
				振り返りシート			○
学年末考査					○	○	

#### 4 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は次の3つの観点から行います。

知識・技能	○地学に関する基本的な概念や原理・法則などを正しく理解しているか。 ○観察・実験における操作や記録方法などの基本的な技能を身につけているか。
思考・判断・表現	○地学や地学現象に対する疑問をもち、その解決に向けて地学的な知識をもとに考察できるか。 ○観察・実験を通して、得られた結果を分析して考察できるか。 ○科学的に正確な情報を適切に選択できているか。 ○自らの考えを科学的根拠をもって表現し、議論することができるか。
主体的に学習に取り組む態度	○身近な地学現象に対して関心をもち、探究しようとしているか。 ○環境問題など科学の発展に伴う現代の問題に対して、自分の考えをもっているか。 ○学習の過程で自らの考えを表現し、議論しようという姿勢であるか。

このため、評価は具体的には次のものを対象とします。

- ・年4回の定期考査(前期中間・前期期末・後期中間・学年末)
- ・長期休暇明けの課題考査2回(夏・冬)
- ・実習レポート(観察・実験・演習への取り組み) ・ 単元ごとの振り返りレポート

また、1年間の評定は、前期・後期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

#### 5 特に強調しておきたい点（留意すべき点・担当者からのメッセージを含む）

実際に足を運ぶ事は難しいので、図表等でイメージをつけながら授業に取り組むとよいと思います。演習などを通して理解を深めます。地層や岩石がどのようにしてできるのか、系統的理解ができる事が目標です。

地学基礎は理解する上で難しい箇所はありません。また、地形や地質、気象や天体、地震や火山噴火などすべて身の回りに存在する事項ばかりです。関心をもって学習し、生涯学習につなげて欲しいと思います。

科 目	体育			年次・コース	2年
単 位 数	3	使用教科書	高等学校保健体育 (第一学習社)	副教材・問題集等	高等学校保健体育ノート (第一学習社)

1. 科目の目標

- 1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。
- 2) 生涯にわたって、運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- 3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

2. 評価の観点の趣旨

知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって、運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

3. 学習の計画

月	単元名	指 導 項 目	予定時間	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント	評価の場面・方法	評価の観点		
						a	b	c
4月	体づくり運動	オリエンテーション 体ほぐしの運動 体力を高める運動	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 体育を学ぶ意味を理解し、学習意欲を高める。</li> <li>• 身体の様々な部位を動かすことで心地よさや楽しさを味わう。</li> <li>• 仲間との活動を通して交流を深める。</li> <li>• 自ら身体活動を創意工夫することにより、自己に適した実践力を身に付ける。</li> </ul>	※体づくり運動は評価しない			
5・6月	体育理論 陸上競技	男子 ・ハードル走 (80mH) ・走り高跳び 女子 ・ハードル走 (50mH) ・ジャベリックスロー	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、短距離走では後半でスピードが著しく低下しないよう、力みのないリズムカルな動きで走る。跳躍種目では、助走のスピードとリズムカルな動きを生かして力強く踏み切り、より遠くへ跳んだりより高く跳んだりできるようにする。投擲種目では、保持姿勢・助走について目標を設定し、達成に向けて練習する。</li> <li>• 自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について自己の考えを伝える。</li> <li>• 自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。</li> </ul>	行動観察 記録会 自己評価表	○ ○ ○	○	○ ○
7・8・9月	体育理論 球技 I	男子 ・ソフトボール 女子 ・ハンドボール	17	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する。</li> <li>• 攻防での自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</li> <li>• 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしたり、互いに助け合い教え合ったり、健康・安全を確保する。</li> </ul>	行動観察 スキルテスト ゲーム評価 自己評価表	○ ○ ○	○ ○	○ ○
10・11月	体育理論 球技 II	男子 ・バレーボール 女子 ・サッカー	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ゲームに必要な技術と関連させた補助運動や部分練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることができる。</li> <li>• 作戦などの話合いの場面で、合意形成するための関わり方を見付け、仲間に伝える。</li> <li>• 一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとする。</li> </ul>	行動観察 スキルテスト ゲーム評価 自己評価表	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○
11月	陸上競技	長距離走	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 距離走では、自己に適したペースを維持して、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり、競争したりできるようにする。</li> <li>• 健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返る。</li> <li>• 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にす。</li> </ul>	行動観察 記録会 自己評価表	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○

12月	球技Ⅲ	男子 ・サッカー  女子 ・バドミントン	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゲームなどを通して、その種目の楽しさを味わいながら個人やチームの課題を設定し、その解決に向けての練習を工夫する。</li> <li>個人やチームの能力に応じて作戦を立て、持っている技能を最大限生かしてゲームを行う。</li> <li>ゲームの企画や運営・審判を行う。</li> </ul>	行動観察 スキルテスト ゲーム評価 自己評価表	○	○	○
1・2月	器械運動 ダンス	男子 ・鉄棒 ・マット運動	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄棒運動では、支持系や懸垂系の基本的な技を滑らかに安定して行ったり発展技を行ったりする。またそれらを構成し演技する。マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行ったり発展技を行ったりする。</li> <li>自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。</li> <li>主体的に取り組むとともに、よい演技を讃え、互いに助け合い教え合おうとする。また一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。</li> </ul>	行動観察 自己評価表 相互評価表 発表会	○	○	○
		女子 ・リズムダンス ・創作ダンス		<ul style="list-style-type: none"> <li>リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で弾んで踊ることができるようにする。</li> <li>自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</li> <li>主体的に取り組むとともに、互いに共感して高め合い、合意形成に貢献しようとする。また一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとする。</li> </ul>				
年間授業時間数			105					

<学習内容についての補足説明> (授業の形態等の詳細な説明も含む。)

\*服装について

- 指定された体操服上下及び体育館シューズを使用する。
- 髪の毛については、肩より長い場合はしばること。

\*見学について

- 体調不良などの理由で授業を見学する場合は、事前に授業担当者に申し出ること

\*体育当番について

- 事前に授業担当者へ授業内容の確認へ行くこと、全員への連絡を行うこと。
- 列の前で整列・挨拶・準備体操の指示、授業後の片付けを行う。

\*その他

- 所定の場所で更衣をし、始業時間を厳守すること。
- 器具や用具については、毎時間安全確認を行う。

#### 4. 評価の観点・方法 (及び年間の評定)

評価は、次の3つの観点から行います。

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動の意義や必要性及び運動の特性を理解し、知識を身に付けている。</li> <li>規則やルール及び審判法を理解して試合(ゲーム)に臨んでいる。</li> <li>運動の特性及び事故やグループ(チーム)の能力に応じて技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうとともに体力を高めるための運動を合理的に実践できる。また、課題の解決、記録の向上、チーム力の向上を目指し技能を高めている</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動の特性及び自己やグループ(チーム)の能力に応じて課題の解決を目指し、運動の合理的な行い方や計画的な活動の仕方を考え工夫している。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるように、自ら進んで計画的に運動しようとしている。</li> <li>厚生、協力、責任などの態度を身に付け、安全に配慮している。</li> </ul>

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

- 行動観察(授業態度)
- 記録会
- スキルテスト、ゲーム評価
- 自己評価表、相互評価表

また、1年間の評定は、前期・後期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

#### 5. 特に強調しておきたい点

体育の授業では誰もが運動の楽しさを味わうことができます。そのためには、自ら進んで運動しようという意欲がとても大切です。ただ、体を動かすだけではなく、自己や仲間と課題を見つけ、その解決に努力するとともに、運動の特性を理解して運動する習慣を身に付けてください。その積み重ねが、体力の向上と運動技能の向上につながり、一層の楽しさへと発展します。さらに、それが生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現する礎となるのです。

# 保 健

## 令和8年度シラバス

科 目	保健			年次・コース	2年
単位数	1	使用教科書	高等学校保健体育 (第一学習社)	副教材・問題集等	保健体育ノート (第一学習社)

### 1. 科目の目標

- (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
- (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

### 2. 評価の観点の趣旨

知識・技能（技術） a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
・個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。	・個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に表現している。	・健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。

### 3. 学習の計画

月	単元	指 導 項 目	予定 時間	主な学習活動（指導内容）と到達目標	評価の場面 ・方法	評価の観点		
						a	b	c
4 ・ 5 ・ 6 月	第3章 生涯を通じる健康	第1節 生涯の各段階における健康 ① 思春期と健康 ② 思春期の体と健康 ③ 結婚生活と健康 ④ 新しい生命の誕生 ⑤ 家族計画と不妊治療 ⑥ 加齢と健康	9	性への意識・行動には個人差がある ・青年期とはどのような時期か説明できる ・性情報を入手する際に気をつけることは何なのか 性の違いを理解し、互いに尊重し合う ・思春期の男女の体に起こる変化とは、どのようなものか理解する パートナーと協力して支える健康 ・健康な結婚生活を送り、家族の健康をまもるためにはどのようにすべきか 母子の健康には周りのサポートが大切 ・妊娠・出産の過程で、家族や周りが配慮すべきことは何だろうか 子どもが望まれて生まれてくるために ・家族計画を立てる場合、どのような点に留意しておくべきだろうか 高齢社会を豊かに生きる ・加齢によって、どのような健康課題が現れるのか考える	行動観察 発言 ワークシート	○  ○	○ ○ ○	○ ○ ○
		第2節 労働と健康 ① 労働者の健康・安全と健康問題 ② 労働災害・職業病とその予防 ③ 労働者の健康づくりと「働き方改革」		7	職場のメンタルヘルスケア ・労働者の健康・安全を守るために何が行われ、過重労働やストレスはどのような健康問題を生じるか理解する 労働災害を防止するために ・職業病や労働災害を防ぐためにはどのような対策や方法があるだろうか 働きやすい環境をめざして ・働き方改革はなぜ必要なのか考える	行動観察 発言 ワークシート	○  ○	○ ○ ○
9月	・前期末考査	1	既習事項のまとめ		ノート確認 考査	○ ○	○ ○	○ ○

10 ・ 11 ・ 12 月	第4章 健康を支える環境づくり	第1節 環境・食品と健康 ① 環境汚染の広がりとその影響 ② 大気汚染の健康への影響と対策 ③ 水質汚濁と土壌汚染の健康への影響と対策 ④ 廃棄物の処理と健康 ⑤ 環境衛生活動 ⑥ 食品の安全性の確保	9	<p>むしばまれていく自然環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>なぜ環境汚染や公害は生じたのか理解し、地球環境問題が重大な問題で、対策が難しいことを理解する</li> </ul> <p>古くて新しい問題 大気汚染</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大気汚染防止・軽減のためにはどのような努力がなされているだろうか</li> </ul> <p>日常生活とつながる水・土壌の汚染</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水と土壌の汚染は、健康にどのような影響をもたらし、どのような対策がなされているのか理解する</li> </ul> <p>環境汚染を防ぐさまざまな取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不適正処理の廃棄物は健康にどのように影響するか考える</li> </ul> <p>環境にやさしいライフスタイルの選択</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミの減量のためにはどのような行動を取るべきか考える</li> </ul> <p>安全な食品を選ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食品による健康被害に対し、消費者に何が求められているか考える</li> </ul>	行動観察 発言 ワークシート	○ ○	○ ○	○ ○
		第2節 保健・医療制度と機関 ① 保健・医療制度 ② 地域の保健機関・医療機関の活用 ③ 医薬品と健康 ④ さまざまな保健活動や社会的対策 ⑤ 健康に関する環境づくりと社会参加 教科横断的学習 (課題発見力・主体性)	8	<p>だれもが必要な医療を受けるためのしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の医療保険制度は、どのようなしくみになっているか理解する</li> </ul> <p>知っておきたい地域の保健・医療機関</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保健・医療機関を活用する際には、何に留意すればよいか考える</li> </ul> <p>正しく服用して効果を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医薬品を正しく使用するために、必要な知識と対策を理解する</li> </ul> <p>ライフステージに合わせた保健活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界ではどのような組織でどのような保健活動が実施されているか理解する</li> </ul> <p>積極的なプロモーションの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヘルスプロモーションに基づいた健康づくりとはどのようなものか</li> </ul>	行動観察 発言 ワークシート	○ ○	○ ○	○ ○
3 月		・学年末考査	1	既習事項のまとめ	ノート確認 考査	○ ○	○ ○	○ ○
年間授業時間数			35					

### <学習内容についての補足説明> (授業の形態等の詳細な説明も含む。)

- 1年次に第1章「現代社会と健康」、第2章「安全な社会生活」を学習します。  
2年次に第3章「生涯を通じる健康」、第4章「健康を支える環境づくり」を学習します。

#### 4. 評価の観点・方法 (及び年間の評定)

評価は、次の3つの観点から行います。

知識・技能	個人生活や社会生活における健康・安全についての課題の解決に向けて、基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。
思考・判断・表現	個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

- ・年2回の定期考査 (前期期末考査・学年末考査)
- ・学習への参加状況 (授業態度・発言・プリント・ノート)

また、1年間の評定は、前期・後期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

#### 5. 特に強調しておきたい点

健康を願わない人はいません。また、人々が常に理想的な健康状態を維持することは易しいことではありません。そんな中、高校生の時期に保健を学習する事は、非常に重要な意味を持っています。人間の生活にとって、健康は生涯を通じて重要な土台となるからです。より豊かで健康的な生活が送れるよう健康について考えるとともに、実践する力を身につけてほしいと思います。

英語コミュニケーションⅡ

科目	英語コミュニケーションⅡ		年次・コース	2年生 文系・理系
単位数	4	使用教科書	Heartening English Communication Ⅱ (桐原書店)	
副教材・問題集等	システム英単語〈5訂版〉(駿台文庫)、Upgrade英文法・語法問題(数研出版)、英語総合問題集 Wonderland 3,4(いっずな書店)、Keys to Listening2(数研出版)			

**1. 科目の目標**

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

(1) 聞くこと

- ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。
- イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。

(2) 読むこと

- ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。
- イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。

(3) 話すこと [やり取り]

- ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。
- イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができるようにする。

(4) 話すこと [発表]

- ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。
- イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。

(5) 書くこと

- ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。
- イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。

**2. 評価の観点の趣旨**

知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その知識を実際のコミュニケーションにおいて適切に活用できるか。	英語で情報や考えなどを的確に理解し、適切に表現したり伝えたりしているか。	英語の背景にある文化を理解し、主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとしているか。

**3. 学習の計画**

月	単元	指導項目	予定時間	主な学習活動(指導内容)と到達目標	評価の場面・方法	評価の観点		
						a	b	c
4月		授業について	1	学習の意味を理解し、学習意欲を高める。				
	Lesson 1	Laughter without Borders	10	海外で狂言を広めている、チェコ出身のオンジェイ・ヒーブル氏へのインタビューを読む。伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の発展に寄与する態度を養う。	活動の観察 小テスト ワークシート 課題・レポート 振り返りシート	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○

5月	Lesson 2	The Ongoing Voyages of Curry	6	インドのカレーがどのように日本のカレーへと変貌したかについての説明文を読む。伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の発展に寄与する態度を養う。	活動の観察 小テスト ワークシート 課題・レポート 振り返りシート	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
	Lesson 3	The World's Most Bicycle-friendly City	7	コペンハーゲンがどのようにして世界有数の自転車都市となったかについての説明文を読む。環境の保全に寄与する態度や、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。	活動の観察 小テスト ワークシート 課題・レポート 振り返りシート	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
6月	前期中間考査・パフォーマンステスト		2			○	○	
	Lesson 4	Can You Feel Emotions in Text?	7	国や文化による顔文字の違いについての論証文を読む。幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度や、他国を尊重し、国際社会の発展に寄与する態度を養う。	活動の観察 小テスト ワークシート 課題・レポート 振り返りシート	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
7月	Real Life English 1	How to Explain Japanese Food	6	アメリカ留学中の主人公になって、日本食を題材にロールプレイングやディスカッションをする。自他の敬愛と協力を重んじる態度や、他国の文化を尊重する態度を養う。	活動の観察 小テスト ワークシート 課題・レポート 振り返りシート	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
	Reading 1	The Joker	13	ジョーク好きの男性の遺言をめぐる相続人たちの滑稽な様子と、故人を偲ぶ心情を描いた物語作品を読む。豊かな情操と道徳心を培う。	活動の観察 小テスト ワークシート 課題・レポート 振り返りシート	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
8・9月	Lesson 5	Background Music and Sharks	13	サメの動画において、そのBGMが人に与える影響について述べた報告文を読む。幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度や、環境の保全に寄与する態度を養う。	活動の観察 小テスト ワークシート 課題・レポート 振り返りシート	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
	前期期末考査・パフォーマンステスト		2			○	○	
10月	Lesson 6	The Benefits of Play	7	遊びが成長にもたらす利点についての説明文を読む。個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うとともに、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う。	活動の観察 小テスト ワークシート 課題・レポート 振り返りシート	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
	Lesson 7	Nursing in a War Zone	7	国境なき医師団の看護師、白川優子氏の活動についての物語文を読む。主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度や、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。	活動の観察 小テスト ワークシート 課題・レポート 振り返りシート	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
11月	Lesson 8	Hawaii's Debate about a Sacred Mountain	7	神聖な山に最新の望遠鏡を設置すべきかについて、対立する2者の意見文を読む。伝統と文化を尊重する態度や、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。	活動の観察 小テスト ワークシート 課題・レポート 振り返りシート	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
	Real Life English 2	How to Deal with Tipping Etiquette	6	アメリカ留学中の主人公になって、チップ制度を題材にロールプレイングやディスカッションをする。自他の敬愛と協力を重んじる態度や、他国の文化を尊重する態度を養う。	活動の観察 小テスト ワークシート 課題・レポート 振り返りシート	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
	後期中間考査・パフォーマンステスト		2			○	○	
12月	Reading 2	The Selfish Giant	13	自己中心的だった大男が改心し、子どもたちと交流を深める様子を描いた物語作品を読む。豊かな情操と道徳心を培う。	活動の観察 小テスト ワークシート 課題・レポート 振り返りシート	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
1月	Lesson 9	The Next Wave in Artificial Intelligence	13	人工知能の最新技術やロボットとの共生についての説明文と意見文を読む。主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。	活動の観察 小テスト ワークシート 課題・レポート 振り返りシート	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○

2 ・ 3 月	Lesson 10	What If There Were No Moon?	8	月が地球に及ぼしている影響についての説明文を読む。幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う。	活動の観察 小テスト ワークシート 課題・レポート 振り返りシート	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
	Real Life English 3	How to Explain St. Patrick's Day	8	アメリカ留学中の主人公になって、セント・パトリックス・デーを題材にロールプレイングやディスカッションをする。自他の敬愛と協力を重んじる態度や、他国の文化を尊重する態度を養う。	活動の観察 小テスト ワークシート 課題・レポート 振り返りシート	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
	学年末考査・パフォーマンステスト		2			○	○	
			140					

### <学習内容についての補足説明> (授業の形態等の詳細な説明も含む。)

- ・授業は基本的には英語で行われます。
- ・ペアで自分の考えや意見を伝え合う活動が定期的に行われます。

### 4. 評価の観点・方法 (及び年間の評定)

評価は、次の3つの観点から行います。

知識・技能	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その知識を実際のコミュニケーションにおいて適切に活用できるか。
思考・判断・表現	英語で情報や考えなどを的確に理解し、適切に表現したり伝えたりしているか。
主体的に学習に取り組む態度	英語の背景にある文化を理解し、主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとしているか。

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

- ・年4回の定期考査
- ・各種小テスト
- ・発表活動 (ディスカッション、プレゼンテーション) では、①話し方 (アイコンタクト・声の大きさ)、②内容 (トピックとの関連性)、③英語 (正しい発音と抑揚・語彙の使用状況) を評価します。
- ・提出物
- ・学習活動への参加の状況 (ペアワーク、グループワークの取組等)

また、1年間の評定は、前期・後期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

### 5. 特に強調しておきたい点

英語は、毎日学習することが大切です。この計画を参考にして、進んで学習する習慣を身に付けましょう。授業は原則として英語で行われます。知らない単語や表現が聞こえてきても、ビジュアルエイドやジェスチャーなどを手がかりにして理解に努めましょう。1年間、英語漬けになることで、リスニング力ばかりでなく、素早く英文を理解する力、語彙力も確実に伸ばすことができます。ただ、どうしても推測できない単語や表現は辞書を使って確認する作業を怠らないようにしましょう。英語を上達させるには、読んだり、聞いたりした表現を自分のものにし、表現活動で使用することが必要です。音読活動に毎日取り組むとともに、学習した表現はスピーキングやライティング活動で積極的に用いるようにしましょう。

科目	外国語		年次・コース	2年・文系
単位数	3	使用教科書	be English Logic and Expression II Smart (いいずな書店)	
副教材・問題集等	be English Logic and Expression II Smart Grammar Book (いいずな書店)、新・英語の構文150 UPGRADED (美誠社)、Clues to Reading (数研出版)			

1. 科目の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

(1) 話すこと [やり取り]

日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合ったり、立場や状況が異なる相手と交渉したりすることができるようにする。また、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができるようにする。

(2) 話すこと [発表]

日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。また、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。

(3) 書くこと

日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。また、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。

2. 評価の観点の趣旨

知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解しているか。	英語で情報や考えなどを的確に理解し、適切に伝えているか。	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているか。

3. 学習の計画

月	単元	指導項目	予定時間	主な学習活動(指導内容)と到達目標	評価の場面・方法	評価の観点		
						a	b	c
4月	Lesson 1	授業について Future Plans	1 6	学習の意味を理解し、学習意欲を高める。 自分の将来の夢について他者に伝える。 【題材に関するタスク】 ・将来の夢に関する文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・夢について話したり、文章を書いたりする。 【文法】 ・動詞の時制について学んで理解する。 ・時や状況に応じて動詞の時制を正しく使う。	活動の観察 ワークシート エッセイライティング 振り返りシート	○ ○	○ ○	○ ○
5月	Lesson 2	Free Time at Home	6	家で過ごす時間について他者に伝える。 【題材に関するタスク】 ・家で過ごす時間について、文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・家で過ごす時間について話したり、文章を書いたりする。 【文法】 ・不定詞(名詞用法)・動名詞・名詞節について学んで理解する。 ・伝えたいことに応じて、不定詞・動名詞・名詞節を正しく使う。	活動の観察 ワークシート エッセイライティング 振り返りシート	○ ○	○ ○	○ ○
6月	Lesson 3	Student Life	6	学校生活について他者に伝える。 【題材に関するタスク】 ・学校生活に関する文章を読んだり聞いたりして理解する。	活動の観察 ワークシート エッセイライティング 振り返りシート	○ ○	○ ○	○ ○

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活について話したり，文章を書いたりする。</li> <li>【文法】</li> <li>・助動詞について学んで理解する。</li> <li>・伝えたい意味に応じて助動詞を正しく使う。</li> </ul>						
		前期中間考査・パフォーマンステスト	2				○	○	
7・8月		スクリプト・ライティングをしてみよう！	2	<b>【タスク】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・与えられた状況に合うスクリプトを、想像力をはたらかせて描く。</li> <li>・スクリプトを表情や身ぶりなど駆使して、ペアになって演じる。</li> </ul>	活動の観察 ワークシート エッセイライティング 振り返りシート		○	○	○
	Lesson 4	What You've Learned through Experience?	6	体験から学んだことを他者に伝える。 <b>【題材に関するタスク】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験から学んだことについて，文章を読んだり聞いたりして理解する。</li> <li>・体験から学んだことについて話したり，文章を書いたりする。</li> </ul> <b>【文法】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・形容詞のはたらきや，分詞の形容詞用法について学んで理解する。</li> <li>・伝えたい意味に応じて，適切な形容詞を用いて文を作る。</li> </ul>	活動の観察 ワークシート エッセイライティング 振り返りシート		○	○	○
9月	Lesson 5	Modern Conversation	6	現代社会の利便性について意見を伝える。 <b>【題材に関するタスク】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会の利便性に関する文章を読んだり聞いたりして理解する。</li> <li>・現代社会の利便性について話したり，文章を書いたりする。</li> </ul> <b>【文法】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな表現を使った形容詞句について学んで理解する。</li> <li>・伝えたい意味に応じて，適切な形容詞句を用いて文を作る。</li> </ul>	活動の観察 ワークシート エッセイライティング 振り返りシート		○	○	○
	Lesson 6	The Information Society	6	情報社会について意見を伝える。 <b>【題材に関するタスク】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報社会に関する文章を読んだり聞いたりして理解する。</li> <li>・情報社会について話したり，文章を書いたりする。</li> </ul> <b>【文法】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係代名詞・関係副詞について学んで理解する。</li> <li>・関係代名詞・関係副詞を用いて文を作る。</li> </ul>	活動の観察 ワークシート エッセイライティング 振り返りシート		○	○	○
			前期末考査・パフォーマンステスト	2				○	○
10月		スピーチをしてみよう！	2	<b>【タスク】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチ原稿を作るための基本的な構成方法やスピーチをする際に求められる態度を理解する。</li> <li>・スピーチ例を声に出して読んだり，実際にスピーチしたりする。</li> </ul>	活動の観察 ワークシート スピーチ 振り返りシート		○	○	○
	Lesson 7	Language and Thought	6	言葉と思考について意見を伝える。 <b>【題材に関するタスク】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ことばと思考についての文章を読んだり聞いたりして理解する。</li> <li>・ことばと思考について話したり，文章を書いたりする。</li> </ul> <b>【文法】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・副詞のはたらきについて学んで理解する。</li> <li>・伝えたい意味に応じて，適切な副詞を用いて文を作る。</li> </ul>	活動の観察 ワークシート エッセイライティング 振り返りシート		○	○	○
	Lesson 8	Emotions and the Workings of the Mind	6	感情と心のはたらきについて意見を伝える。 <b>【題材に関するタスク】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感情と心のはたらきについての文章を読んだり聞いたりして理解する。</li> <li>・感情と心のはたらきについて話したり，文章を書いたりする。</li> </ul> <b>【文法】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不定詞（副詞用法）・分詞について学んで理解する。</li> <li>・伝えたい意味に応じて不定詞・分詞を正しく使う。</li> </ul>	活動の観察 ワークシート エッセイライティング 振り返りシート		○	○	○

11月	Lesson 9	What Exactly Does Leadership Mean?	6	<p>リーダーシップについて意見を伝える。</p> <p>【題材に関するタスク】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーシップについての文章を読んだり聞いたりして理解する。</li> <li>・リーダーシップについて話したり、文章を書いたりする。</li> </ul> <p>【文法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな意味を表す副詞節について学んで理解する。</li> <li>・伝えたい意味に応じて適切な副詞節を用いて文を作る。</li> </ul>	<p>活動の観察</p> <p>ワークシート</p> <p>エッセイライティング</p> <p>振り返りシート</p>	○	○	○
	Lesson 10	Introducing Japan	6	<p>日本を紹介する。</p> <p>【題材に関するタスク】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本を紹介する文章を読んだり聞いたりして理解する。</li> <li>・日本について話したり文章を書いたりする。</li> </ul> <p>【文法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原級・比較級・最上級を使う比較について学んで理解する。</li> <li>・原級・比較級・最上級を用いて文を作る。</li> </ul>	<p>活動の観察</p> <p>ワークシート</p> <p>エッセイライティング</p> <p>振り返りシート</p>	○	○	○
	後期中間考査・パフォーマンステスト			2			○	○
12月	Lesson 11	Making Innovation Happen	6	<p>イノベーションについて意見を伝える。</p> <p>【題材に関するタスク】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イノベーションについての文章を読んだり聞いたりして理解する。</li> <li>・イノベーションについて話したり、文章を書いたりする。</li> </ul> <p>【文法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮定法について学んで理解する。</li> <li>・仮定法の表現を用いて文を作る。</li> </ul>	<p>活動の観察</p> <p>ワークシート</p> <p>エッセイライティング</p> <p>振り返りシート</p>	○	○	○
	Lesson 12	Embracing Diversity in Society	6	<p>社会の多様性について意見を伝える。</p> <p>【題材に関するタスク】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の多様性についての文章を読んだり聞いたりして理解する。</li> <li>・社会の多様性について話したり、文章を書いたりする。</li> </ul> <p>【文法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要求や必要、認識を表す表現・時制の一致・話法について学んで理解する。</li> <li>・要求や必要、認識を表す表現・時制の一致・話法を用いて文を作る。</li> </ul>	<p>活動の観察</p> <p>ワークシート</p> <p>スピーチ</p> <p>振り返りシート</p>	○	○	○
	Lesson 13	Tourism and Japanese Society	6	<p>観光と日本社会について意見を伝える。</p> <p>【題材に関するタスク】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光と日本社会についての文章を読んだり聞いたりして理解する。</li> <li>・観光と日本社会について話したり、文章を書いたりする。</li> </ul> <p>【文法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・存在や変化の表現について学んで理解する。</li> <li>・伝えたい意味に応じて、存在や変化、「～がかかる」という表現を正しく用いて文を作る。</li> </ul>	<p>活動の観察</p> <p>ワークシート</p> <p>プレゼンテーション</p> <p>振り返りシート</p>	○	○	○
1月	Lesson 14	Food and Health	6	<p>食と健康について意見を伝える。</p> <p>【題材に関するタスク】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食と健康についての文章を読んだり聞いたりして理解する。</li> <li>・食と健康について話したり、文章を書いたりする。</li> </ul> <p>【文法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使役動詞・知覚動詞について理解する。</li> <li>・伝えたい意味に応じて、使役動詞・知覚動詞を用いて文を作る。</li> </ul>	<p>活動の観察</p> <p>ワークシート</p> <p>プレゼンテーション</p> <p>振り返りシート</p>	○	○	○
	Lesson 15	SDGs and Issues Facing the World	6	<p>SDGsと世界の問題について意見を伝える。</p> <p>【題材に関するタスク】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsと世界の問題についての文章を読んだり聞いたりして理解する。</li> <li>・SDGsと世界の問題について話したり、文章を書いたりする。</li> </ul> <p>【文法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語とは違う英語らしい表現について学んで理解する。</li> <li>・無生物主語や受動態を使う表現を用いて文を作る。</li> </ul>	<p>活動の観察</p> <p>ワークシート</p> <p>ディベート</p> <p>振り返りシート</p>	○	○	○
2・3月						○	○	○

	Supplementary Exercises	2	【タスク】 ・さまざまなテーマについて英語で考え、筋道立ててわかりやすく伝える。 ・Exampleの文章を読んだり、実際に自分の考えを書いたりする。	活動の観察 ワークシート ディベート 振り返りシート	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
	学年末考査・パフォーマンステスト	2			○	○	
		105					

<学習内容についての補足説明> (授業の形態等の詳細な説明も含む。)

- ・授業は基本的には英語で行われます。
- ・ペアで自分の考えや意見を伝え合う活動が定期的に行われます。

#### 4. 評価の観点・方法 (及び年間の評定)

評価は、次の3つの観点から行います。

知識・技能	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解しているか。
思考・判断・表現	英語で情報や考えなどを的確に理解し、適切に伝えているか。
主体的に学習に取り組む態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているか。

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

- ・年4回の定期考査、パフォーマンステスト
- ・各種小テスト
- ・発表〔スピーチ、ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション〕では、次の観点で評価します。
  - ①アイコンタクト、②声の大きさ、③正しい発音と抑揚、④語彙の使用状況
- ・ワークシート
- ・エッセイライティング (①分量、②内容 (論理性、具体性)、③文法)
- ・提出物
- ・学習活動への参加の状況 (ペアワーク、グループワークの取り組み等)

また、1年間の評定は、前期・後期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

#### 5. 特に強調しておきたい点

英語は、毎日学習することが大切です。この計画を参考にして、進んで学習する習慣を身に付けましょう。知らない単語や表現が聞こえてきても、ビジュアルエイドやジェスチャーなどを手がかりにして理解に努めましょう。1年間、英語漬けになることで、リスニング力ばかりでなく、語彙力や英語で表現する能力を確実に伸ばすことができます。ただ、どうしても推測できない単語や表現は辞書を使って確認する作業を怠らないようにしましょう。英語を上達させるには、学んだ表現を実際にできるだけ多く使ってみることが必要です。学習した表現はスピーキングやライティング活動で積極的に用いるようにしましょう。

**情報 I**

科目	情報 I		年次・コース	2年次 全クラス	
単位数	2	使用教科書	改訂版 高等学校 情報 I (数研)	副教材・問題集等	情報 I サポートノート(数研)

**1. 科目の目標**

効果的なコミュニケーションの実現, コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに, 情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。また, 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え, 問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する能力を高めるとともに, 情報社会に主体的に参画する態度を養う。

**2. 評価の観点の趣旨**

知識・技能 (技術) a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
効果的なコミュニケーションの実現, コンピュータやデータの活用について理解し, 技能を身に付けているとともに, 情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え, 問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら, 問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し, 自ら評価し改善しようとしている。

**3. 学習の計画**

月	単元	指導項目	予定時間	主な学習活動 (指導内容) と到達目標	評価の場面・方法	評価の観点		
						a	b	c
4	第1編 情報社会の問題解決	第1章 情報とメディア	4	・情報や情報社会に興味関心を持ち, 身の回りの問題点について考えることができる。 ・知的財産権, 著作権等の法律, 個人情報漏洩の危険性等について理解できる。	行動観察 ワークシート	○		○
		第2章 情報社会における法とセキュリティ						
5	第2編 コミュニケーションと情報デザイン	第1章 情報のデジタル表現	6	・デジタルとアナログの違いについて理解し, デジタル化の利点について知ることができる。 ・数値や文字, 音声, 色, 画像のデジタルデータの扱いについて理解できる。	行動観察 行動観察	○		○
		第2章 コミュニケーション手段の発展と特徴						
6		第3章 情報デザイン	6	・メディアや表現方法, 適切な情報発信の方法について考えることができる。 ・情報の抽象化, 構造化, 可視化等の手法を理解しユニバーサルデザインに生かすことができる。	行動観察 課題確認	○	○	○
		第4章 プレゼンテーション						
7		【巻末実習】プレゼンテーション作成・発表	6	・プレゼンテーションの手法について学び, 実践することができる。 ・見やすいスライド作成や分かりやすい発表ができる。	課題確認 発表評価 定期考査	○	○	○
8 9 10	第3編 コンピュータとプロ	第1章 コンピュータのしくみ	10	・コンピュータ内部の構成, ソフト・ハードについて理解する。	行動観察	○		
		第2章 プログラミング						

11	グラミング	第3章 モデル化とシミュレーション	8	・課題解決のためのモデル化とシミュレーションの方法を理解し活用することができる。	ワークシート	○	○	
12	第4編 情報通	第1章 ネットワークのしくみ	6	・情報通信ネットワークの進化とそれに伴うコミュニケーションの変化について理解できる。	行動観察			○
1	信ネッ	第2章 データベース	6	・データベースの役割を理解し適切に活用できる。	行動観察		○	○
2	トワー	第3章 データの分析	6	・表計算ソフトを利用してデータ分析を行うことができる。	行動観察	○		
3	クとデータ の活用	【巻末実習】データを分析してみよう		・大きなデータを分析し課題解決につなげることができる。	課題確認 定期考査	○	○	○
通 年	第1編 情報社 会の問 題解決	第3章 情報技術が社会に及ぼす影響 【巻末実習】安全なパスワードを作ろう	4	・情報セキュリティの大切さを理解し、対策方法について考えることができる。 ・普段使用しているパスワードがどれだけ安全なものかを確認し、よりセキュリティレベルの高いパスワードを考えることができる。	行動観察 課題確認		○	○
年間授業時間数			70					

#### 4 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の3つの観点から行います。	
知識・技能	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会との関わりについて理解している。
思考・判断・表現	事象を情報とその結びつきの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。
主体的に学習に取り組む態度	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。
このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査（期間中に学習した内容でテストを行います。）</li> <li>・課題作品提出（実習で作成した課題で評価をします。）</li> <li>・学習への参加状況（実習への取り組み状況、授業中の発言内容、振り返りシート等）</li> </ul>	
また、1年間の評定は、前期・後期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。	

#### 5 特に強調しておきたい点

教科「情報」は生きた教科です。今日習った最新の知識が明日には過去の知識となることもあります。普段の生活の中からいろいろな情報技術に触れ、そして、そこから手にした情報や知識を生かしていく情報活用能力を身につけてください。

令和8年度 教育 課程 表

岐阜県立斐太高等学校 全日制課程 単位制 普通科(普通)

1年次

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	備考
現代の国語 (2)		言語文化 (2)			歴史総合 (2)		公共 (2)		数学Ⅰ (3→2)		数学Ⅱ (4)	数学A (2)		化学基礎 (2)		生物基礎 (2)		体育 (7~8)		保健 (2)	音楽Ⅰ (2)	美術Ⅰ (2)	英語コミュニケーションⅠ (3)			論理・表現Ⅰ (2)		家庭基礎 (2)		* (3~6 →2)	HR		

※ 期間履修

\* :総合的な探究の時間

2年次文系

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	備考
論理国語 (4)		古典探究 (4)			地理総合 (2)		日本史探究 (3)		数学Ⅱ (4)				数学B (2)	数学C (2)	地学基礎 (2)		体育 (7~8)		保健 (2)	英語コミュニケーションⅡ (4)			論理・表現Ⅱ (2)		情報Ⅰ (2)		* (3~6 →2)	HR					

※ 期間履修

\* :総合的な探究の時間

2年次理系

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	備考
論理国語 (4)		古典探究 (4)			地理総合 (2)		数学Ⅱ (4)		数学Ⅲ (3)	数学B (2)	数学C (2)	物理基礎 (2)		物理 (4)		化学 (4)		体育 (7~8)		保健 (2)	英語コミュニケーションⅡ (4)			論理・表現Ⅱ (2)		情報Ⅰ (2)		* (3~6 →2)	HR				

※ 期間履修

※ 期間履修

※ 期間履修

\* :総合的な探究の時間

3年次文系

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	備考
論理国語 (4)		国語特講(学) 音楽特講B(学) 美術特講B(学) 書道特講B(学) 生物探究(学)			古典探究 (4)		日本史探究 (3)		日本史特論 (学)	地理探究(3)		日本史探究(3)	数学C (2)		地歴特講(地理)(学)	地歴特講(日本史)(学)	化学基礎探究 (学)	生物基礎探究 (学)	体育 (7~8)		英語コミュニケーションⅢ (4)			論理・表現Ⅲ (2)		HR							

生物探究(学)

3年次理系

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	備考
論理国語 (4)		古典探究 (4)			地理探究 (3)		地理特論 (学)	日本史探究 (3)		日本史特論 (学)	数学Ⅲ (3)		理系数学特講A (学)	数学C (2)		物理 (4)		生物 (4)		化学 (4)			体育 (7~8)		英語コミュニケーションⅢ (4)		論理・表現Ⅲ (2)		HR				

※ 期間履修

整理番号